

児島看護高等専修学校
閉校記念誌

「67年間のあゆみ」



一般社団法人 児島医師会
児島看護高等専修学校

児島看護高等専修学校
校歌「清き心と」

作詞 松井 王恵
作曲 吉村 友江
編曲 寺谷 道子

Page

マカデガシク
♩=105前後

1. きよきなこころいと
2. おおきなこころいと

1. あかるといへが
2. あまこをまつて

1. まいしてはくいに
2. まいしてはくいに

1. みまをつみす
2. ままをみす

1. (さ) んのせとによすさ
2. (お) ののせとによすさ

1. (さ) なみめとてや
2. (さ) なみめとてや

Coda. **1. 2. 3.** あああきょうも

1. そだててやまん
2. 3. あゆみてやまん

1. 2. 3. われらまなびの

1. 2. 3. かんこのみちや

間奏(1番と2番の間に)
1. 2. 3. かんこのみちや

(二)

(一)

※
かんわあ
護れあ
のらて
道学ま
やびのん

尊き命と朝雲の
炎と心のごと
燃え出づる

守りこの
りやま
この
手
で
この
目
で

大なる愛と
誠をもつて

看護の道や
わかれ学
びの
育てて
あき
ま
あ
を
求
め
て
病める
人
へ
の
愛を
求
め
て
病める
人
へ
の
さざな
みの
ご
と
備讃の
瀬戸
に
寄
す
身を
つ
つ
み
ま
ぶ
し
い
白
衣
に
明る
い
笑
顔
と
清き
心
と

松井王恵 作詞
吉村友江 作曲
寺谷道子 編曲

「清き心と」



「これからも大きな夢や希望に向かって」



一般社団法人 児島医師会 会長 兼 第十三代 校長 **渡辺 英臣**

本校は、社団法人児島市医師会立児島准看護養成所として昭和 30（1955）年に設立され、昭和 56（1981）年 4 月に児島看護高等専修学校と改称された後、平成 7（1995）年 3 月には多目的教室が完成しました。第 40 期生から募集した男子生徒含め、第 66 期生を加えた卒業生は 1,116 名となりました。長年にわたって、児島看護高等専修学校に対し、格別なご支援とご尽力を賜りました皆様をはじめ、関係機関、団体の皆様に心から感謝致します。そして、過去から現在に至るまで、本校に勤務された教職員の皆様には、生徒に対して、最良の教育条件を整える工夫を続けながら、勤勉実直で優しく思いやりのある生徒を育むなど、卓越した、特色ある准看護師教育を強力に推し進めて頂きましたことに、最大限の労いと敬意を表します。児島看護高等専修学校の校歌は、生徒はもとより、教職員、保護者、卒業生等に深く愛され、歌い継がれてまいりました。校歌には看護の道を進むために必要な事柄が、児島の海の情景と共に織り込まれ、児島看護高等専修学校最後の卒業生も、この校歌を歌いながら、自分たちの良さに気づき、大きな自信を持つことができました。さらに、児島看護高等専修学校の校章には、2 つの S が描かれ、Sympathy と Service すなわち共感と奉仕が表されており、この校章は、これからも私たちに必要なことを教えてくれています。今回、閉校しましても、卒業生ならびに関係者が色々な方々への奉仕を最後まであきらめないでやりとげ、大きな夢や希望に向かって前向きに進み、身につけたこの 2 つの S を十分に発揮しながら、大いに活躍されることと信じております。児島看護高等専修学校の長き歩みに関わってこられたすべての方々に深く感謝申し上げるとともに、児島地区の医療・介護・福祉がますます発展されるよう祈念致します。

児島看護高等専修学校 閉校記念誌 目次

閉校記念誌刊行のあいさつ

児島医師会会長 兼 児島看護高等専修学校長 渡辺英臣 1

閉校記念誌目次 2

学校の沿革 4

教育の理念・目的・目標 5

校章・校旗・校歌制定 6

歴代校長・教職員 8

准看護師学校養成カリキュラムの推移 10

講師歴一覧 12

実習施設一覧 21

卒業後の進学・就職先一覧 22

第1部 沿革

「67年の足跡」

倉敷市長 伊東香織 26

倉敷市連合医師会 会長 難波一弘 27

倉敷市立市民病院 院長 江田良輔 28

倉敷市立市民病院 看護部長 石井和子 29

歴代校長 渡辺好政 30

歴代校長 三宅八郎 31

歴代校長 松香陽子 32

歴代校長 難波弘志 33

歴代教務主任 中島玲子 34

永年講師 児島医師会会員 35

卒業生代表 41

外部講師・教職員 43

第2部 寄稿

「67年の光芒」

第3部 資料

「67年の思い出」

67年間の思い出写真 48

卒業生名簿 56

編集後記 62

第 1 部

沿革

「67年の足跡」

学 校 の 沿 革

年	期	卒業者数		校長	教務主任
昭和30年		...	5月16日 岡山県児島郡琴浦町大字下村564番地の1にて「児島准看護婦養成所」創設される 定員 第1学年15名、2学年15名	前野哲夫	上原澄江
32年	1	13		↓	↓
33年	2	11		横山元徳	
	3	14		↓	
35年	4	16	6月27日 校舎を児島市下之町堀江451番地より 児島市味野1609番地に移転する	岡春雄	松井ナカ子
36年	5	17		↓	
	6	12			
38年	7	10	2月12日 生徒定員1学年15名より20名に増員承認	↓	
39年	8	22		姫井逸美	
40年	9	23	... 4月1日 「児島准看護学院」に改称	↓	
	10	26			
	11	22			
	12	28			
	13	28			
	14	17			
46年	15	22	9月23日 倉敷市児島味野1丁目14番20号にて 各種学校の認可	山名堅二	
47年	16	21		↓	
48年	17	16			
49年	18	18	10月23日 校舎を現在地に新築移転 (倉敷市児島小川町3672番地)	↓	
	19	12		岡田由夫	
	20	11		↓	
	21	8			
53年	22	8			
	23	4			
55年	24	17	... 12月23日 各種学校より専修学校に移行 「児島看護高等専修学校」となる	村山正則	田原住子
	25	20		↓	吉永茂美
57年	26	15			
58年	27	19			
	28	16			
	29	19			
61年	30	17	校章制定		
62年	31	14	校旗制定		
	32	11			
平成元年	33	18			
2年	34	14	校歌「清き心と」制定	渡辺好政	中島玲子
	35	15		↓	
4年	36	10			
	37	12			
6年	38	8	男子生徒受入承認される	山名正俊	
7年	39	10	2月25日 多目的教室を増築する	↓	
8年	40	13		三宅八郎	
	41	19		↓	
	42	20			
	43	20			
12年	44	20			
	45	18			
14年	46	16	教育カリキュラム改正 県下唯一の准看護師養成所となる	松香陽子	
	47	22		↓	
	48	23		難波弘志	
	49	18		↓	
	50	21		渡辺英臣	
	51	21		↓	
	52	19			
	53	15			
22年	54	15			菱川和代
	55	21			中島玲子
24年	56	18			↓
	57	18			佐々木邦代
26年	58	19			↓
27年	59	23			山口聖美
28年	60	21			
	61	22			
30年	62	20			
令和元年	63	17			
2年	64	16	募集中止		
3年	65	19	学校廃止許可		
4年	66	8	3月5日 閉校式		



I. 教育の理念・目的・目標

1、教育理念

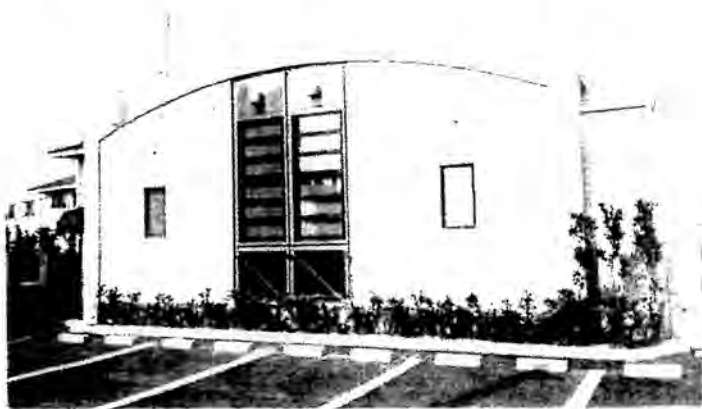
奉仕と博愛を基本理念とし、社会の複雑化・多様化に対応し得る准看護師を育成する。

2、教育目的

准看護師として必要な知識及び技術に関する専門教育を行い、豊かな人間性を基盤とし地域医療の充実・発展に寄与できる准看護師の育成を目的とする。

3、教育目標

- 1) 看護の対象である人間を統合された存在として理解し、状態に応じた看護を安全・安楽に実践できる基礎的能力を養う。
- 2) 個人を尊重し(生命・人格・人権を守り) 誠実で公平な倫理に基づいた看護実践するための基礎的能力を養う。
- 3) 保健医療チームの一員としての役割を認識し、他の職種と協調できる能力を養う。
- 4) 自己啓発に努め、人との関わりを通して自ら学び成長する豊かな人間性を養う。



多目的教室
友愛と交流の広場



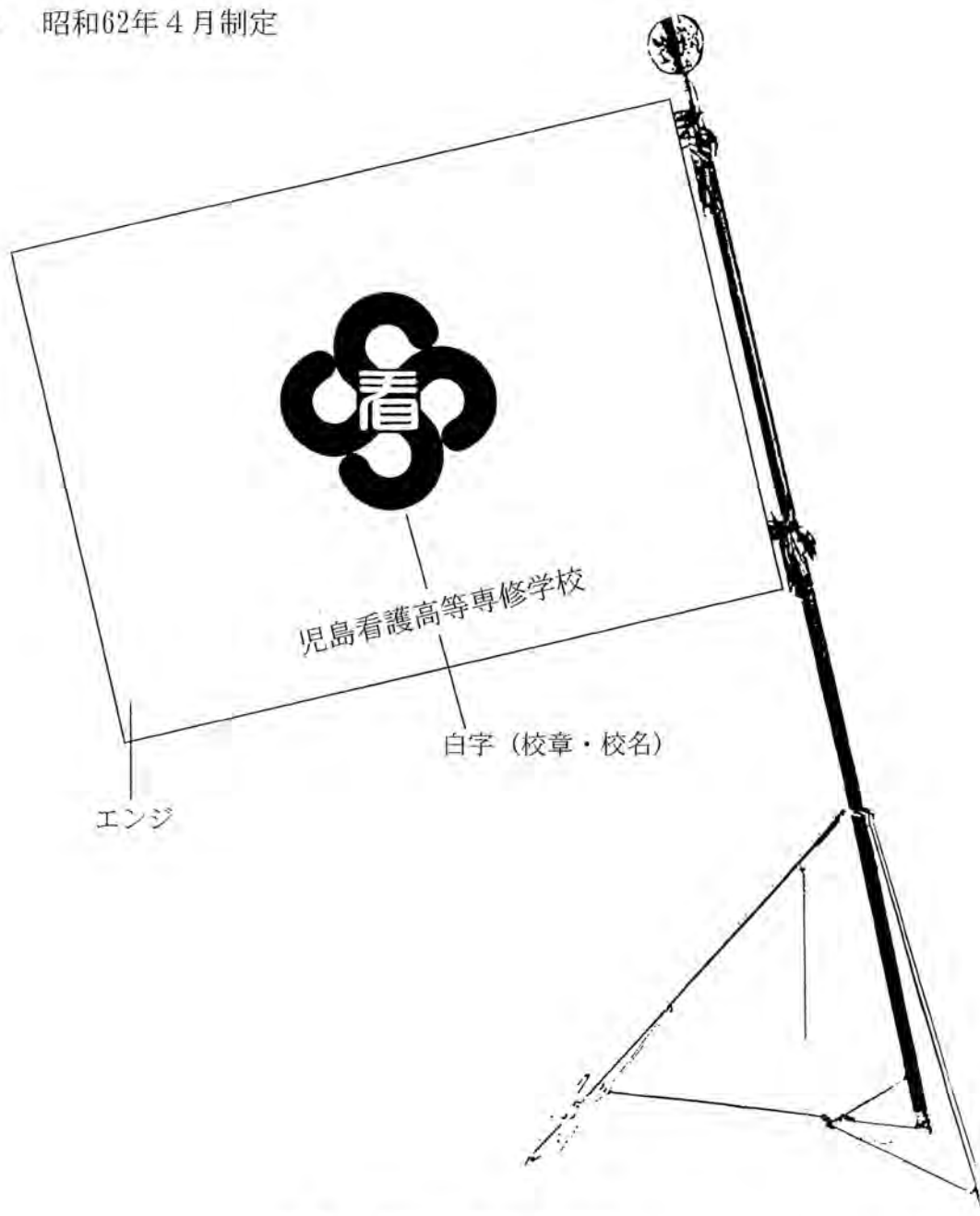
児島看護高等専修学校校舎



校章の由来

看護の原点である Service Sympathy
 二つのS即ち、奉仕と思いやりを表している。
 村山正則先生（当時学校長）考案されました。

校章 昭和62年4月制定



校旗 昭和63年10月制定

児島看護高等専修学校

校歌 「清き心と」

(一)

清き心と
明るい笑顔
まぶしい白衣に
身をつつみ
備讃の瀬戸に寄す
さざなみのごと
病める人への
愛を求めて
ああ きょうも
育ててやまん
われら学びの
看護の道や

(二)

大きな愛と
誠をもって
この手でこの目で
守ります
竜王の燃え出づる
朝雲のごと
命と心の
尊き炎
ああ きょうも
歩みてやまん
われら学びの
看護の道や

平成二年制定

松井玉恵 作詞
吉村友江 作曲
寺谷道子 編曲

歴代校長

初代	前野哲夫	昭和30年5月～昭和33年3月
2代	横山元徳	昭和33年4月～昭和35年3月
3代	岡 春雄	昭和35年4月～昭和39年3月
4代	姫井逸美	昭和39年4月～昭和47年3月
5代	山名堅二	昭和47年4月～昭和53年3月
6代	岡田由夫	昭和53年4月～昭和57年3月
7代	村山正則	昭和57年4月～平成 4年3月
8代	渡辺好政	平成 4年4月～平成 8年3月
9代	山名正俊	平成 8年4月～平成12年3月
10代	三宅八郎	平成12年4月～平成22年3月
11代	松香陽子	平成22年4月～平成24年3月
12代	難波弘志	平成24年4月～平成26年6月
13代	渡辺英臣	平成26年7月～令和 4年3月

教 職 員

上 原 澄 江	教務主任	昭和 30 年 5 月 ～ 昭和 36 年 3 月
松 井 十 力 子	教務主任	昭和 36 年 3 月 ～ 昭和 56 年 8 月
田 原 住 子	専任教員	昭和 48 年 4 月 ～ 昭和 56 年 8 月
	教務主任	昭和 56 年 9 月 ～ 昭和 58 年 3 月
錦 織 英 子	専任教員	昭和 57 年 6 月 ～ 昭和 59 年 10 月
吉 永 茂 美	教務主任	昭和 58 年 6 月 ～ 平成 2 年 8 月
能 瀬 敬 子	専任教員	昭和 59 年 9 月 ～ 昭和 63 年 7 月
中 島 玲 子	専任教員	昭和 63 年 10 月 1 日 ～ 平成 2 年 8 月 31 日
		平成 27 年 10 月 28 日 ～ 平成 28 年 2 月 29 日
	教務主任	平成 2 年 9 月 1 日 ～ 平成 27 年 10 月 27 日
		平成 28 年 3 月 1 日 ～ 平成 30 年 3 月 31 日
菱 川 和 代	専任教員	平成 2 年 9 月 1 日 ～ 平成 22 年 3 月 31 日
		平成 27 年 7 月 17 日 ～ 平成 27 年 10 月 27 日
	教務主任	平成 27 年 10 月 28 日 ～ 平成 28 年 2 月 29 日
植 野 清 美	専任教員	平成 7 年 4 月 ～ 平成 11 年 11 月
赤 池 咲	専任教員	平成 13 年 5 月 ～ 平成 25 年 3 月 31 日
武 内 麻 里 子	専任教員	平成 22 年 4 月 ～ 平成 22 年 8 月
山 口 聖 美	専任教員	平成 23 年 4 月 1 日 ～ 令和 2 年 8 月 31 日
	教務主任	令和 2 年 9 月 1 日 ～ 令和 4 年 3 月 31 日
岩 崎 恵 美	専任教員	平成 25 年 4 月 1 日 ～ 令和 4 年 3 月 31 日
佐々木 邦 代	専任教員	平成 27 年 5 月 18 日 ～ 平成 30 年 3 月 31 日
	教務主任	平成 30 年 4 月 1 日 ～ 令和 2 年 8 月 31 日
木 村 ひ と み	専任教員	平成 27 年 10 月 1 日 ～ 令和 4 年 3 月 31 日
佐々木 佳 代	専任教員	平成 28 年 3 月 16 日 ～ 平成 29 年 12 月 28 日
水 畑 美 穂	実習指導員	平成 30 年 4 月 10 日 ～ 令和 3 年 10 月 31 日
岡 田 純 爾	専任教員	平成 30 年 5 月 7 日 ～ 令和 2 年 3 月 31 日
江 南 文 子	実習指導員	平成 30 年 8 月 7 日 ～ 平成 31 年 4 月 30 日

岩 崎 初 枝	事 務	昭和 38 年 3 月 ～ 昭和 55 年 4 月
久 保 美 智 子	事 務	昭和 55 年 4 月 ～ 平成 9 年 6 月
佐 原 由 紀 恵	事 務	平成 9 年 4 月 ～ 平成 27 年 2 月 13 日
長 田 幸 美	事 務	平成 27 年 1 月 5 日 ～ 平成 28 年 1 月 4 日
大 下 里 英	事 務	平成 28 年 3 月 1 日 ～ 平成 28 年 7 月 15 日
藤 井 美 也 子	事 務	平成 28 年 4 月 18 日 ～ 平成 28 年 5 月 18 日
江 見 尚 哉	事 務	平成 28 年 6 月 20 日 ～ 令和 4 年 3 月 31 日

●准看護師学校養成所カリキュラムの推移

乙種看護婦養成所指定規則			准看護婦学校養成所指定規則		
昭和24年(1949)5月			昭和26年(1951)8月		
専門科目	解剖生理	45	専門科目	解剖生理	45
	細菌及び消毒法	30		細菌及び消毒法	30
	個人及び病院衛生	30		個人衛生	30
	食餌療法(調理法を含む)	30		食餌療法	30
	薬理学(軽易なるもの)	20		薬理概論	15
	一般看護法 (計340)			疾病と健康の社会的考察	20
	看護史及び看護倫理	20		関係衛生法規	10
	看護法理論及び実施	100		家事家政	30
	内科疾患及び看護法(伝染病を含む)	80		一般看護法 (計370)	
	外科疾患及び看護法(整形外科、包帯法及び救護法を含む)	40		看護史及び看護倫理	10
	小児科疾患及び看護法	30		看護原理及び実際	100
	産婦人科疾患及び看護法並びに新生	30		内科疾患及び看護法(伝染病を含む)	80
	皮膚泌尿器科疾患及び看護法	10		外科疾患及び看護法(整形外科)	50
	眼科及び耳鼻咽喉科疾患並びに看護	15		小児科疾患及び看護法(小児保健指導を含む)	40
	理学療法	15		産婦人科疾患及び看護法(新生児を含む)	30
	疾病の社会的及び経済的考察	15		精神科疾患及び看護法	25
	衛生法規	10		眼科、歯科及び耳鼻咽喉科疾患	15
	家事家政	40		皮膚泌尿器科疾患(性病を含む)	10
	小児保健指導	30		理学療法	10
計	590時間		計	580時間以上	
臨床実習	<臨床実習総計 62週> 病室その他の勤務 計 50 週 (内科 16, 外科 12, 小児科 8, 産婦人科 6, 手術室 4, 調理室 4)		臨床実習	<臨床実習総計 67週以上> 病室その他の勤務 計 54 週以上 (内科 16, 外科 16, 小児科 8, 産婦人科 6, 手術室 4, 特別食調理室 4)	
	外来勤務 計 12 週 (内科 2, 外科 2, 小児科 2, 産婦人科 2, 皮膚泌尿器科 2, 眼科及び耳鼻咽喉科 2)			外来勤務 計 13 週以上 (内科 2, 外科 2, 小児科 2, 産婦人科 2, 眼科及び耳鼻咽喉科 3, 皮膚泌尿器科 2)	
備考	ほかに語学, 音楽, 体育その他の教養科目を教授すること		備考	ほかに語学, 音楽, 体育その他の教養科目を教授すること	

准看護婦学校養成所指定規則 改正 平成元年(1989)3月		
基礎科目	国語	35
	音楽	35
	外国語	35
	保健体育	35
	その他	65
専門基礎科目	解剖生理	70
	栄養	35
	薬理	35
	病理	15
	微生物	35
	保健医療	20
	関係法規	15
	精神保健	20
専門科目	基礎看護	(計245)
	看護概論	35
	基礎看護技術	175
	臨床看護概論	35
	成人看護	105
	老人看護	35
	母子看護	70
	臨床実習	(計595)
	基礎看護	105
	成人看護	385
	老年看護	
	母子看護	105
計		1500時間
臨床実習	臨床実習	595時間(再掲)
備考	演習及び校内実習は講義に含まれる	

准看護婦学校養成所指定規則 平成11年(1999)12月		
基礎科目	国語	35
	外国語	35
	その他	35
専門基礎科目	人体のしくみと働き	105
	食生活と栄養	35
	薬物と看護	35
	疾病の成り立ち	70
	感染と予防	35
	看護と倫理	35
	患者の心理	35
	保健医療福祉の仕組み	35
	看護と法律	
専門科目	基礎看護	(計315)
	看護概論	35
	基礎看護技術	210
	臨床看護概論	70
	成人看護	210
	老人看護	
	母子看護	70
	精神看護	70
	臨地実習	(計735)
	基礎看護	210
	成人看護	385
	老年看護	
	母子看護	70
	精神看護	70
計		1890時間
臨床実習	臨床実習	735時間(再掲)
備考	演習及び校内実習は講義に含まれる	

児島看護高等専修学校 講師歴一覧

※資料として残っているもののみ掲載

准看護婦学校養成所指定規則

＜昭和26年(1951年)8月～のカリキュラム＞

講師名		担当分野	昭30	31	32	33	34	～	37	38	39	40	～	46	47	～	51	52	53	54	55	56	～	59	60	61	62	63	元
解剖生理	●西原雄太郎																												
	●三宅卓郎																												
	●高岩虞肆																												
	●難波靖一																												
	●西原之																												
	●難波 進																												
	●妹尾 覚																												
	●妹尾 昂																												
	●川畑承就																												
	●柴田高志																												
	●横山元禎																												
	●越智邦夫																												
	●桑元惇三																												
	●岡 莞爾																												
	●妹尾一信																												
	●坪井 淳																												
	●難波義夫																												
	●久保田正幸																												
	●石原孝之																												
	●野上和加博																												
専門科目 細菌及び消毒法	●松井健次郎																												
	●田口 実																												
	●岡 春雄																												
	●星島静夫																												
	●難波 進																												
	●吉田英子																												
	●柴田高志																												
	●村山正則																												
	●星島俊彦																												
	●園部 宏																												
	●岡田由夫	臨床検査																											
	●佐藤公人																												
	●錦織和正	臨床検査																											
	●坪井 淳																												
	●難波義夫																												
	●藤田俊弘																												
	●香川晃一																												
	●久保田正幸																												
	●石原孝之																												
	●寺谷彰芳																												
個人衛生	●大島捷六																												
	●川野辺三郎																												
	●田嶋 実																												
	●太田博術																												
	●森崎敏子																												
食餌療法	●前田謙二																												
	●神原啓三																												
	●朝倉三九良																												
	●田嶋 實																												
	●桑元久美子																												
薬理	●姫井治美																												
	●松香孝章																												
	●古元重光																												

講師名		担当分野	昭30	31	32	33	34	～	37	38	39	40	～	46	47	～	51	52	53	54	55	56	～	59	60	61	62	63	元
疾病と健康の社会的考察	●前野哲夫																												
	●木村敏太																												
	●野上迪也																												
	●栗屋研吾																												
	小橋千鶴子																												
	松下アヤメ																												
	渡辺真策																												
	岩知道友子																												
	小山 泉																												
	兼延武士																												
関係衛生法規	近藤																												
	原 道子																												
	前島カシ子																												
	藤原登美子																												
	伊達寛子																												
	藤田浩文																												
家事家政	野上郁子																												
	牧本																												
	斉藤																												
	前野礼子																												
	岡野一幸子																												
一般看護法																													
専門科目	看護史																												
	鴨井牧子																												
	看護原理及び実際																												
	上原澄江																												
	松井ナカ子																												
	鴨井宏子																												
	田原住子																												
	吉永茂美																												
	能瀬敬子																												
	中島玲子																												
内科疾患及び看護法	●山名堅二																												
	●植田真臣																												
	●小武守 靖																												
	中里尚代																												
	●丸川和太																												
	●神原啓三																												
	●大滝千尋																												
	●吉田英子																												
	●国安玲子																												
	●沼本徹郎																												
	●岡田由夫																												
	鴨井牧子																												
	炭谷多美子																												
	●西原孝雄																												
	高旗富士子																												
	壺井貞子																												
	東 洋子																												
	秋山秀子																												
	柳下一二三																												
	●山名正俊																												
	●桑元惇三																												
外科疾患及び看護法	●山田寛一																												
	高橋静子																												
	●村山正則																												
	●妹尾昂																												
	●吉田英子																												
	●松田 弘																												
	近藤光子																												

講師名		担当分野	昭30	31	32	33	34	～	37	38	39	40	～	46	47	～	51	52	53	54	55	56	～	59	60	61	62	63	元
専門科目	放射線	●加藤宣博																											
		●西原孝雄																											
		●余財伸一																											
	国語	田原賢二																											
		三村啓介																											
		島村和之																											
		大倉和子																											
		大西啓子																											
		秋山専平																											
		高田比呂喜																											
		片山基枝																											
	英語	宮本昭三																											
		児島																											
		岡本																											
		藤本眞代																											
		村上 清																											
		角南 賢																											
		阪口泰信																											
		獅々堀 進																											
	音楽	森上 泰																											
		石村																											
	体育	寺谷道子																											
		白神																											
		松井ナカ子																											
		吉永茂美																											

●印は医師・歯科医師、印のないものは専任教員、保健師、助産師、看護師、臨床検査技師、理学療法士、その他の有資格者である。

	講師名	担当分野	平2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
基礎科目	国語	片山基枝											
		藤原明美											
		原 誠											
	音楽	寺谷道子											
		山内敦子											
		脇本恵子											
	英語	森上 奏											
		貝原美花											
		加藤加代子											
		内田守人											
	保健体育	目黒やすし 気功											
		石井 勉 心理											
		西原 真 美術											
		岡根 昭 美術											
専門基礎科目	その他	岡野一幸子 家政											
	解剖生理	●川畑承就											
		●野上和加博											
		●岡 莞爾											
		●妹尾一信											
		●石原孝之											
		●寺谷彰芳											
		●三宅由美子											
		●山崎泰弘											
		●桑元惇三											
	栄養	●田嶋 實											
		●姫井治美											
		●夕部憲一											
	薬理	●古元重光											
		●森岡 明											
		●久保田正幸											
	病理	●石原基正											
		●香川光一											
		●三宅八郎											
		●藤田俊弘											
	微生物	●寺谷彰芳											
		●三宅由美子											
		錦織和正 臨床検査											
		●岡本常夫											
		●坪井 淳											
		●大滝俊宏											
	保健医療	山口富美恵 臨床検査											
		●竹馬 浩											
		岡野初枝											
		藤原美保子											
		●宗田真理子											
		岩知道友子											
		日下陽子											
		●森田 稔											
		●山名正俊											
		浅川富美雪											
	関係法規	●難波弘志											
		●内藤允子											
		●宗田真理子											
		●藤田浩文											
		篠井加津子											
		綱島公子											
		浅川富美雪											

専 門 基 礎	講師名		担当分野	平2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	保 健 師	精 神												
専 門 科 目	基 礎 看 護	●	吉村 勲											
			鴨井牧子	看護概論										
			中島玲子	看護概論										
			壺井貞子	看護概論										
			茂内文子	看護概論										
			難波茂美	基礎看護技術										
			中島玲子	基礎看護技術										
			菱川和代	基礎看護技術										
			市民病院看護師	臨床看護概論										
			●桑元惇三	呼吸循環血液										
	成 人 看 護	●	田邊秀幸	呼吸循環血液										
			古谷隆道	呼吸循環血液										
			●山名正俊	消化器内分泌代謝										
			●竹馬 彰	消化器外科総論										
			●西原孝雄	膠原病感染寄生										
			●胡谷 直	脳神経										
			●難波弘志	消化器										
			●三宅八郎	消化器										
			●沼本泰行	内分泌代謝										
			市民病院看護師	内科看護										
			●山崎泰弘	外科										
			●坪井 淳	外科										
			●尾崎謙一	外科										
			●松田 弘	外科										
			●竹馬 浩	外科										
			市民病院看護師	外科看護										
			●妹尾 昂	運動器										
			●難波 浩	運動器										
			市民病院看護師	運動器看護										
			●吉村 勲	精神										
			●三宅八郎	精神										
			●洲脇正雄	皮膚										
			●天野正雄	泌尿器										
			●山崎泰弘	腎泌尿器										
			●川野辺 登	女性生殖器										
			●渡辺好政	眼科										
			●渡辺英臣	眼科										
			●大島昭夫	耳鼻科										
			●石原基正	耳鼻科										
			●細川浩成	歯科										
			●駒井正昭	歯科										
			●余財伸一	放射線										
			●松香陽子	放射線										
			●加藤宣博	理学療法										
			●藤田俊弘	理学療法										
	看 老 護 人	●	市民病院看護師											
			●横山元禎	産科										
	母 子 看 護	●	高田博有	産科										
			妹尾佳均	小児科										
			●国安玲子	小児科										
			山崎洋子	母性看護										
			市民病院助産師	母性看護										
			市民病院看護師	小児看護										

●印は医師・歯科医師、印のないものは専任教員、保健師、助産師、看護師、臨床検査技師、理学療法士、その他の有資格者である。

		講師名	担当分野	平13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	令2	3
基礎科目	国語	原 誠																						
		大西卓二																						
		白神道子																						
		小牧久壬																						
	音楽	脇本恵子																						
	英語	森上 泰																						
		浮田典子																						
	体育・保健	内田守人																						
	その他	岡根 昭	美術																					
		目黒やすし	気功																					
		宮崎 裕子	気功																					
専門基礎科目	人体のしくみと働き	●行廣成史	総論骨格筋																					
		●湯川 進	体液呼吸循環																					
		●国安哲矢	体液呼吸循環																					
		●岡 完爾	消化器内分泌																					
		●岡 秀行	消化器内分泌																					
		●妹尾一信	感覚系体温																					
		●杉江千秋	感覚系体温																					
		●西井正和	感覚系体温																					
		●村山佳則	神経系																					
	と食生活	●田嶋憲一																						
		●姫井治美																						
		津々美紀																						
	薬物と看護	●古元重光	薬物と看護																					
		●久保田正幸																						
		●洲脇貴浩																						
		●草場珠郁子																						
	成り立ちの疾病	●藤田俊弘																						
		●大滝俊宏																						
		●坪井 淳																						
		山口富美恵	臨床検査																					
		小野 朗	臨床検査																					
		船越恵子	臨床検査																					
		中原貴子	臨床検査																					
	看護と倫理	松尾敏子	看護と倫理																					
		石井 勉																						
		●濱村貴史																						
	患者の心理	林原麻衣子																						
		●山名正俊																						
		●三宅八郎																						
	保健医療福祉のしくみ	●難波弘志																						
		浅川富美雪																						
		浅川富美雪																						
	看護と法律	浅川富美雪																						
		浅川富美雪																						
専門科目	基礎看護	鴨井牧子	看護概論																					
		山崎洋子	看護概論																					
		佐々木邦代	看護概論																					
		中島玲子	看護概論																					
		山口聖美	看護概論																					

講師名		担当分野	平13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	令2	3
基礎看護	中島玲子	基礎看護技術																					
	菱川和代	基礎看護技術																					
	武内麻里子	基礎看護技術																					
	山口聖美	基礎看護技術																					
	岩崎恵美	基礎看護技術																					
	木村ひとみ	基礎看護技術																					
	佐々木佳代	基礎看護技術																					
	市民病院看護師	臨床看護概論																					
	山口聖美	臨床看護概論																					
	木村ひとみ	臨床看護概論																					
	岩崎恵美	臨床看護概論																					
	目黒やすし	気功																					
	宮崎裕子	気功																					
成人看護	●桑元惇三	呼吸循環血液																					
	●出口静吾	呼吸循環血液																					
	●東 俊宏	呼吸循環血液																					
	●古谷隆道	呼吸循環																					
	●藤本久貴	呼吸循環																					
	●尾崎公孝	消化器																					
	●山本康善	消化器																					
	●沼本泰行	内分泌代謝																					
	●竹馬 彰	消化器麻酔手術																					
	●西原孝雄	膠原病感染寄生虫																					
	●胡谷 直	脳神経																					
	鎌田正司	作業療法																					
	市民病院看護師	内科系看護																					
	市民病院看護師	外科系看護																					
	市民病院看護師	運動器看護																					
	塩田恭子	骨関節筋看護																					
	岡村亜紀	消化器看護																					
	岩崎恵美	概論呼吸器手術看護																					
	山口聖美	循環器脳神経看護																					
	木村ひとみ	内分泌代謝血液看護																					
	●難波 浩	運動器																					
	●三宅孝弘	運動器																					
	●洲脇正雄	皮膚科																					
	●山崎泰弘	腎泌尿器																					
	●宮地禎幸	腎泌尿器																					
	●新川平馬	腎泌尿器																					
	●石原基正	耳鼻科																					
	●小河原利彰	耳鼻科																					
	●草場 隆	耳鼻科																					
	●川野辺 登	女性生殖器																					
	●清水一二美	女性生殖器																					
	●高取明正	女性生殖器																					
	●多賀茂樹	女性生殖器																					
	●坂口幸吉	女性生殖器																					
	山崎洋子	女性生殖器看護																					
	●渡辺好政	眼科																					
	●渡辺英臣	眼科																					
	●駒井正昭	歯科口腔器																					
	●松香陽子	放射線																					
	岡田 純爾	海外医療																					
老人看護	市民病院看護師																						
	江南文子																						
	木村ひとみ																						
母子看護	●横山元禎	母性疾患																					
	●川野辺 登	母性疾患																					
	●清水一二美	母性疾患																					

専門科目	講師名		担当分野	平13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	令2	3
母子看護	●高取 明正	母性疾患																						
	市民病院助産師	母性看護																						
	山崎洋子	母性看護																						
	内門弘子	母性看護																						
	●妹尾佳均	小児疾患																						
	市民病院看護師	小児看護																						
	中島玲子	小児看護																						
精神看護	●吉村 勲	精神保健・疾患																						
	山崎信子	精神看護																						
	森 重美	精神看護																						
	山崎佳奈	精神看護																						
	木村ひとみ	精神看護																						

●印は医師・歯科医師、印のないものは専任教員、保健師、助産師、看護師、臨床検査技師、理学療法士、その他の有資格者である。

《 実習施設一覧 》

昭和30年(1955年)～ 臨床実習総計67週以上

病室その他の勤務	内科
	倉敷市立市民病院 (第一実習施設) ……味野
外来勤務	外科
	下山内海病院 (第二実習施設) ……味野 (現: 児島中央病院)
	小児科
	佐藤眼科医医院 ……味野1693
	産婦人科
	古林耳鼻科医医院 ……琴浦町下村468
	眼科及び耳鼻咽喉科
	高田齒科医医院 ……琴浦町下村311
	皮膚泌尿器科

開校当初

平成元年(1989年)～ 臨床実習595時間 平成2年施行

基礎看護	倉敷市立児島市民病院	成人看護	倉敷市立児島市民病院 佐藤眼科 大島耳鼻科	老人看護	倉敷市立児島市民病院 特別養護老人ホーム潮風園	母子看護	倉敷市立児島市民病院 健診・倉敷市児島支所
------	------------	------	--------------------------	------	----------------------------	------	--------------------------

平成11年(1999年)～ 臨床実習735時間 平成14年施行

平成15年～ 平成17年～ 平成30年～ 令和3年

基礎看護	倉敷市立児島市民病院	倉敷市立児島市民病院	倉敷市立児島市民病院		倉敷市立市民病院		基礎Ⅰ学内 基礎Ⅱ倉敷市立市民病院
	倉敷市立児島市民病院 特別養護老人ホーム潮風園 佐藤眼科 大島耳鼻科	倉敷市立市民病院 特別養護老人ホーム潮風園	倉敷市立市民病院		倉敷市立市民病院		成人老年ⅠⅡⅢ (慢性期・急性期)学内 老年: 児島第一診療所
成人老年	倉敷市立市民病院	倉敷市立市民病院	倉敷市立市民病院		倉敷市立市民病院		うちかど助産院
母子	倉敷市立市民病院	倉敷市立市民病院	倉敷市立市民病院		倉敷市立市民病院		なんぼ小児科・妹尾小児科
精神		浅羽医学研究所附属 岡南病院	浅羽医学研究所附属 岡南病院		浅羽医学研究所附属 岡南病院		学内(河田病院)

※小児健診: 児島保健福祉センター

卒業後の進学・就職先一覧

※42期生(平成10年)から資料の残っているもののみ掲載

期生 (卒業年)	県内進学先	人数	県外進学先	人数	県内就職病院名	就職者 数
42期生 (平成10年)	倉敷看護専門学校	3名	藤森看護専門学校	1名	児島中央病院、下津井病院、佐藤眼科医院、 王子脳神経外科、児島中央病院、田嶋内科、 正療ヒフ科クリニック、松田外科、 チクバ外科胃腸科肛門科病院、児島聖康病院	11名
43期生 (平成11年)	倉敷看護専門学校	4名	北斗会看護専門学校	1名	児島中央病院、倉敷あいあい園、児島聖康病院、 岡南病院、王子脳神経外科、佐藤病院	7名
	ベル学園高等学校専攻科	1名				
	岡山看護専門学校	1名				
44期生 (平成12年)	倉敷看護専門学校	9名	広島県立皆実高等学校専攻科	1名	児島中央病院、児島第一診療所、倉敷シテイ病院	4名
	岡山看護専門学校	1名			児島市民病院	
45期生 (平成13年)	倉敷看護専門学校	8名			チクバ外科胃腸科肛門科病院、児島市民病院	2名
46期生 (平成14年)	倉敷看護専門学校	8名	福山看護専門学校	1名	万成病院、新見脳神経外科	2名
	ベル学園高等学校専攻科	1名				
	岡山看護専門学校	4名				
47期生 (平成15年)	倉敷看護専門学校	4名	六日市医療技術専門学校看護科	1名	新見脳神経外科、倉敷シテイ病院、佐藤眼科医院、 児島市民病院、倉敷記念病院、児島聖康病院、 岡南病院	10名
	ベル学園高等学校専攻科	1名				
	旭川荘厚生専門学院	3名				
48期生 (平成16年)	倉敷看護専門学校	10名	滋賀県立総合福祉専門学校	1名	万成病院、佐藤眼科医院、倉敷第一病院、 児島聖康病院、由良病院	6名
	旭川荘厚生専門学院	6名				
49期生 (平成17年)	倉敷看護専門学校	5名	藍野看護短期大学	1名	岡山東部脳神経外科岡山クリニック、 倉敷仁風荘病院	2名
	旭川荘厚生専門学院	4名	福山市医師会看護専門学校	1名		
50期生 (平成18年)	倉敷看護専門学校	10名			万成病院、倉敷記念病院、佐藤病院	4名
	長島愛生園附属看護学校	1名				
	旭川荘厚生専門学校	4名				
51期生 (平成19年)	倉敷看護専門学校	9名	姫路市医師会看護専門学校	1名	新あしもり内科、倉敷広済病院、倉敷あいあい園、 中畝医院	5名
	旭川荘厚生専門学校	3名	高松医師会看護専門学校	1名		
52期生 (平成20年)	倉敷看護専門学校	5名	兵庫県立総合衛生学院	2名	神原病院、下津井病院、倉敷広済病院	8名
	旭川荘厚生専門学校	3名	福山市医師会看護専門学校		梶木病院、玉島病院、グループホーム	
53期生 (平成21年)	倉敷看護専門学校	5名		0名	老健オアシス、倉敷広済病院 児島聖康病院、王子脳神経外科、倉敷シテイ病院	9名
54期生 (平成22年)	倉敷看護専門学校	5名		0名	田嶋内科、野上内科、難波医院 倉敷広済病院、柴田病院	10名
	旭川荘厚生専門学校	1名				
55期生 (平成23年)	倉敷看護専門学校	4名		0名	武田病院、児島中央病院、竜操クリニック、 なんば内科クリニック、にいや内科クリニック	14名
	旭川荘厚生専門学校	3名				
56期生 (平成24年)	倉敷看護専門学校	7名	高松医師会看護専門学校	1名	重井医学研究所附属病院、光生病院、金光病院 児島中央病院、倉敷広済病院、三宅医院 倉敷第一病院	8名
	長島愛生園附属看護学校	2名				

期生 (卒業年)	県内進学先	人数	県外進学先	人数	県内就職病医院名	就職者数
57期生 (平成25年)	倉敷看護専門学校 旭川荘厚生専門学校	9名 1名		0名	万成病院、スイートホスピタル、児島中央病院 王慈園、藤戸クリニック	7名
58期生 (平成26年)	倉敷看護専門学校 長島愛生園附属看護学校	7名 1名	東京衛生学園専門学校	1名	難波医院、同仁病院、玉島病院、庵谷医院 児島中央病院、新見中央病院、倉敷シテイ病院 重井医学研究所附属病院、光生病院、金光病院	9人
59期生 (平成27年)	倉敷看護専門学校 長島愛生園附属看護学校	7名 2名	松江看護高等学院	1名	セントラルシテイ病院、田嶋内科、万成病院 光生病院、まきび病院、王子脳神経外科 児島中央病院、木本内科、水島第一病院	13人
60期生 (平成28年)	倉敷看護専門学校 長島愛生園附属看護学校	5名 1名	兵庫県立総合衛生学園	1名	児島中央病院、田嶋内科、大島医院、平病院 まきび病院、長島愛生園、佐藤眼科、中畝医院 倉敷スイートホスピタル、水島第一病院、 薬師寺慈恵病院、水島第一病院	14人
61期生 (平成29年)	倉敷看護専門学校 長島愛生園附属看護学校	7名 2名		0名	四ツ葉会元気の家、武田病院、藤田病院 ゆめの里、柴田病院、菜の花、井上眼科 薬師寺慈恵病院、瀬戸内記念病院、岡山刑務所 児島聖康病院	13人
62期生 (平成30年)	倉敷看護専門学校 長島愛生園附属看護学校	8名 1名		0名	倉敷シテイ病院、ハートフルきらめき荘、 平病院、清音金型製作所デイスサービス、長野病院 岡南病院、児島聖康病院、下野内科外科歯科 ももの里病院、新倉敷メディカルスクウェア	10人
63期生 (平成31年)	倉敷看護専門学校 長島愛生園附属看護学校	7名 1名	六日市医療技術専門学校 多摩全生園附属看護学校	1名 1名	倉敷仁風ホスピタル、下津井病院、万成病院、 薬師寺慈恵病院	6名
64期生 (令和2年)	倉敷看護専門学校	3名	徳島県立総合看護学院	1名	武田病院、橋本産婦人科、倉敷シテイ病院、 特別養護老人ホームレファシード直島、 万成病院、水島第一病院、海岸通りクリニック、 デイスサービスクローバー、平病院	12名
65期生 (令和3年)	倉敷看護専門学校 (3年課程) 長島愛生園附属看護学校	1名 1名	四国学院大学香川西高等学校 衛生看護専攻科	1名	中島病院、岡山刑務所、まび記念病院、玉島病院 万成病院、柴田病院、倉敷シテイ病院、難波医院 社会福祉法人アミカル、あごうエイジングクリニック	16名
66期生 (令和4年)	長島愛生園附属看護学校	1名		0名	柴田病院、佐藤眼科医院、 星の家ゆうづつデイスサービスセンター プライムホスピタル玉島	7名



A decorative rectangular border with ornate floral and scrollwork patterns at each corner and the center of each side.

第 2 部

寄稿

「67年の光芒」

児島看護高等専修学校の閉校に寄せて



倉敷市長 **伊東 香織**

児島看護高等専修学校の閉校記念誌発刊にあたり、一言御挨拶を申し上げます。

児島看護高等専修学校は、児島医師会により昭和30年に児島准看護婦養成所として創立されて以来、66年の長きにわたり准看護師の育成につとめてこられ、このたび令和4年3月でその歴史に幕を下ろすこととなりました。これまでの歴史と伝統を築き上げて来られました歴代の校長先生並びに教職員の皆様をはじめ、貴校に関わってこられたすべての皆様の教育に対する熱い思いと、たゆまぬ努力に対し、深く敬意を表しますとともに、地域医療の発展への御貢献に厚くお礼を申し上げます。

この66年の間、医療・看護は著しい進歩を遂げてきました。近年では、高齢化社会の到来や甚大化する災害、新たな感染症の発生など、看護に対するニーズは複雑化・多様化しております。貴校では、その時々において適切に対応した養成を行われ、卒業された皆様は各分野で大いに活躍していらっしゃるものと存じます。県下で最後の准看護師養成の学校として、一度社会に出た人、早く現場で働きたい人など、様々な経歴を持つ幅広い年代の方々が、看護の道を目指すときに、その学びの場として重要な役割を果たしていただいたことに感謝申し上げます。

毎年、学生の皆さんが小児看護の臨地実習として、市の幼児健診に来られた際は、受診した親子に積極的に声を掛け、専門的な知識・技術を懸命に習得しようとされていたと聞き、日頃の先生方の御指導の賜物であると大変感心いたしました。学生の皆さんにとっては2年間という短い期間ではありますが、この学び舎で培われたことは、大変密度の濃い学びであったものと確信しております。

結びに、本日までの長年にわたる貴校の活動に御尽力くださいましたすべての皆様に対しまして、改めまして心より感謝を申し上げますとともに、皆様の御健勝と御多幸を祈念しまして、閉校に寄せての挨拶といたします。

謝 辞 (児島看護高等専修学校に寄せて)



倉敷看護専門学校 校長 倉敷市連合医師会 会長 **難波 一弘**

児島看護高等専修学校の皆様、関係者の方々、長きにわたり本当にご苦勞様でした。令和4年3月に閉校されることとなり、看護学校を運営しております私共にとっても誠に残念で感慨深いものを感じております。昭和30年（1955年）に創立された伝統と格式を持った貴校は67年の長きにわたり、児島だけでなく、倉敷市、そして岡山県の医療の発展、継続に大変重要な役割を果たしてこられました。これまでの実績を考えますと、出来ることなら、今後も倉敷の医療のために活躍していただきたいという思いでいっぱいです。時代の流れとは言え、我々の倉敷看護専門学校も今年から准看護師養成機関である2年課程の閉課を行わざるを得なくなりました。当校は1988年に設立されており、貴校に比べるとまだまだ歴史も浅い存在ではありますが、人口の減少、4年制大学の看護科の増設等様々な要因で、その役割を終えざるを得ない環境となってしまいました。貴校の卒業生は1000人を優に超えており、現在も多くの医療機関で医療、そして介護に従事されております。今後も卒業生の皆様は、伝統校である、児島看護高等専修学校を卒業したという誇りをもって、仕事にそして社会に貢献していただきたいと思います。

実を言いますと、私の運営している医療機関でも、以前はほとんど毎年のように貴校の卒業生に来ていただいております。看護補助員として就労し、諸先輩方が行う看護業務を見習いながら、学業にも努力される姿に、その決意の強さを感じておりました。その方々が、地域医療をしっかりと背負っていったことを私はしっかり見届けてまいりました。現在も複数の方が現役として従事してくださっており、その優秀さ、勤勉さには頭が下がる思いです。

貴校が閉校となることで、今後の倉敷での医療従事者養成の門戸が更に狭まり貴校入学希望者もその志を断念せざるを得なくなるかもしれません。これまでの貴校の実績を無にすることなく、我々はじめ県内の看護師養成機関は、さらに一層努力していく所存です。

最後になりますが、皆様の今後のさらなる発展とご健勝を祈念いたしまして、謝辞とさせていただきます。

人を育てる大切さを思い、看護師像の進化の息吹を感じる。



倉敷市立市民病院 院長 江田 良輔

児島看護高等専修学校の閉校にあたり、惜別の思いの中ご挨拶申し上げます。岡山県唯一の准看護師養成学校が幕を閉じるという歴史的な出来事でもありました。児島医師会が崇高な使命感で、前身の児島准看護師養成所を創設したのは昭和30年で、児島市民病院は昭和25年生まれなので当院は、学生たちの主たる臨地実習の場として67年間ずっと寄り添ってきた相棒のような関係だったのではないかと思います。実習生をそれも十数人いっぺんに、多忙な看護業務の中で請け負う看護師たちにとっては相当な負担ではありましたが、一方で実地指導や学科講師の任につくことで、初心に立ち返り純粋な気持ちを思い出せた、人に教えることは難しいが知識を整理し深めることができた、先輩看護師として頑張らなければと新たな気持ちが湧いたなど、ウィンウィンの関係だったと思います。さわやかな青と白の縦のストライプのユニフォーム姿ではつらつとした学生たちに「お疲れ様です」と挨拶をされると、私も清々しくなり元気をもらえていたなあと思い出します。ポストコロナの医療情勢、2025年問題など医療界は激動の時代を迎えます。しかしいかなる時代においても「組織は人なり」は金言だと思います。ナイチンゲールの「看護は観察に始まり観察に終わる」は名言で、我々医師にとって看護師に最も期待するのは、常に患者さんサイドに立ち、最も身近でわずかな病状変化も見逃さない観察力であり、報告力です。卒業生の皆様方には、看護の原点（奉仕と共感の二つのS）を忘れずに使命感を持って組織の中での貴重な人財としてご活躍されることを願っています。今まで学生教育に心血を注いでこられた学校教員の皆様方には敬意を表し益々のご健勝を祈念いたします。また「人を育てる」を実践し看護学校を創設、発展維持させてきた児島医師会の諸先輩先生方を誇りに感じながら、私も微力ながら矜持と情熱をもってこれからも地域医療に貢献したいと思います。

児島看護高等専修学校閉校に寄せての思い



倉敷市立市民病院 看護部長 **石井 和子**

児島看護高等専修学校が、開校依頼 67 年間にわたり多くの准看護師の育成を担ってこられました。このたび、令和 4 年 3 月を持って、その長い歴史に終止符を打つことになり、一抹の寂しさを禁じえません。

当院は倉敷市唯一の自治体病院として、実習生受け入れ機関の主体となり、長年にわたり看護学校に寄り添ってまいりました。1 年目は学内での看護学基礎知識を習得するため様々な分野の勉強指導があり、当院から看護師が講師として趣き、教鞭をとらせていただきました。2 年目には、病院実習が始まります。看護学校と臨床の連絡会では、臨地実習における問題の共有を図り、解決策を模索し共に学生の成長を支援して参りました。

また検討会や学内行事、院内行事など様々な機会に交流を持つことができ、看護基礎教育と臨床の一体化を図り看護教育の充実に努めることが出来ました。

その中で学内行事の一つである、戴帽式では、第 61 期生と第 64 期生の式典に出席させていただき、看護学生と共に看護に対する思いを新たにすることが出来ました。

このように長きにわたり看護教育の向上に努め、准看護師を輩出してこられ、看護師を志し第一歩を踏み出した生徒達を暖かく見守り指導してこられました、児島看護高等専修学校教職員の皆様に深く敬意を表します。

今後、倉敷市立市民病院の看護教育がさらなる発展を遂げるよう、臨床現場の教育環境を整えながら、看護教育の充実に努めて参りたいと思います。

「負けない」専門職を目指しましょう！

—児島看護高等専修学校（以下 本校）の閉校に寄せて—



第八代校長 渡辺 好政

私の唯一の趣味は、囲碁であります。学生時代は、囲碁部の主将でした。児島味野の自宅では「なべ碁会」という名の碁会を主宰しておりました。教会関係の友人の故 大山 輝氏（元 倉敷市市民課長）の紹介によって、将棋の大山康晴名人の知己を得、自宅で碁盤を囲むこととなり、大山輝氏のお見立てにより、棋力はほぼ同じくらい（アマ6段・当時）という手合い、楽しい一局となりました。

手談の後、将棋名人としばし歓談の時を持ちました。その時、大山名人から頂いた次のようなお言葉がとても印象的でした。「将棋の対局では、私は、『負けない将棋』を指すよう努力しており、『勝つ』ことより、『負けない』ことを大切にし、将棋の進歩にも遅れないように、自分にも『負けない』ように努力しています」と。

私たちの社会生活においても、「勝つ」構えより、「負けない」構えを尊重されることは、美しさを尊ぶ社会を構成するともいわれます。

本校をご卒業に皆様には、置かれた場所において、それぞれの専門職において、医学・医療の進歩に「負けない」ご精進を、併せて、誰にも「負けない」位、一度きりの人生を楽しめますようご祈念申し上げます。

創立以来 67 年の歴史をもつ本校も、最近の医療情勢の現実は厳しく、私たちの専門学校も本日、閉校式を迎えることとなりました。今日まで、本校の運営に寄与されたご関係各位に心から感謝を申し上げ、閉校に寄せる言葉といたします。

児島看護高等専修学校閉校に当たり

第十代校長 三宅 八郎



私は、平成2年4月より看護学校担当理事に就任、以来平成22年3月まで20年間看護学校の運営に携わり、そのうち、平成12年より10年間は学校長を務めました。

私が看護学校担当理事に就任した頃はバブルの最盛期で、神武以来の好景気と言われ、前代未聞の求人難のために中・高卒業生1人に約6社の入社勧誘があるという異例の状態でした。そこで、生徒の悩みはどの会社を選ぶかという状況でしたので、当校を受験する生徒は少なく、本校卒業生4人という年もあり、10人以下の年が6回ありました。

そこで、児島高校、琴浦商業高校、第一高校の3校や職業安定所を尋ねたり、専門紙に募集案内を掲載するなどして学校のPRに努めました。

また、同時期に、看護連盟の准看廃止運動が盛んとなり、新聞報道にとどまらず、国会にも働きかけるようになり、本校の運営存続の危機を迎えました。

しかしながら、当時の正看と准看の比率が半々くらいで、准看なしでは日本の医療は成り立たないということで、准看制度は国からも再評価されました。

その上、バブルが弾けた途端に情勢は一変して、企業の人員削減や卒業生の就職難により本校に入試応募者が殺到し、定員20人ところに100人前後が、西日本各地や九州、沖縄からも押しかける異例の時期もあり、学校運営も安定しました。

そして、優秀な生徒が多くなり、ほとんどが卒業後進学し正看を目指すようになり、県からも20人定員ではあるが生徒を少し増やしてもよい、という内諾を得て、教室に入る限度の24人入学もありました。この様に、医療は不況に強く、戦時でもどんな時代でも必要とされ、将来AIが発達した時代になっても生き残る職業であろうかと思いました。

次に訪れた危機は、平成11年に国の政策による准看護師の質の担保ということで、学校の施設や教員資格、教員数、カリキュラム改正など基準が厳しくなり、これにより県下の10校が廃止に追い込まれました。幸いにも、本校はこれをクリアーして平成14年4月からは県下唯一の医師会立看護学校として存続することができました。

本校卒業生は、地元中心に県外各地でも看護業務に従事していますが、その中で異色の人といえば、第10期生の土居きよみさんが上げられます。彼女は、京都府城陽市で画業に専念し、沢山の動物の様なものを描き込んだ幻想的抽象画を制作していましたが、現在は米国で活躍しているようです。彼女の小品が、現在も医師会館に飾られています。

最終的に、本校の存続が困難となったのは、令和元年秋に倉敷市立市民病院から出された、実習中止の申し出でした。これに対して、渡辺医師会長兼校長や教員達が病院側にこれまで通りの実習受け入れを要請しましたが、合意に至らず、八方手はつくしましたが、市民病院以外に近くに実習病院を確保することは困難でした。准看護師養成校や准看護師志望者の減少という時代の流れもあり、六十七年の永きにわたる本校の歴史に幕を引くことになりました。

卒業生の皆さんの心の拠り所をなくし、また、地域の小規模病院や診療所、介護福祉施設等の看護要員の確保が難しくなりましたこと、私どもの力不足で申し訳ない気持ちでいっぱいです。

終わりに、本校の創設に携わった大先輩や学校の発展と継続に尽力された多くの関係者の皆さんに深甚の謝意を表すとともに、卒業生の皆さんには健康に留意され、本校の卒業生であることを矜持として、地域医療、介護福祉の分野で精励されますよう祈念いたします。

教室に 校歌の余韻 閉校す

看護学校の思い出



第十一代校長 松香 陽子

平成9年4月、父の内科医院で開業医としての一步を踏み出しました。

同時に児島医師会の一員として医師会活動に参加し、平成10年度（44期生）より児島看護高等専修学校の講義を依頼され、「放射線診療」と「救急医療」を担当することになりました。救急病院に長年勤務した私には、馴染みの多い分野で、講義時間も少なく気軽に引き受けたものの、内容豊富で、講義時期も年末・年始で結構忙しい思いをしました。

最初の「放射線診療」の教科書は50ページに及び詳細に放射線の基礎と臨床応用が書かれており、看護学生には理解するのが大変であろうと思われました。幸い、途中から基礎の部分は省略され、資格試験で出題されることも少ないため、基本的なことを押さえた上で、教科書にない、医療現場で放射線診断や治療を受ける患者に接する時に、患者と看護師自身を放射線被曝から守るために大切な知識を教えるようにもしました。

「救急医療」でも、臨床現場で起きる急変時の対応のみならず、普段の生活でも出会う救急現場で、臆することなく手を貸せる人になれるように講義したつもりです。

試験も落とすためではなく、これだけは覚えて欲しい事を出題し、間違えても正しい答えを覚えれば一生の知識になるように作成し、試験前に大切な箇所を指摘したのですが、一次試験で全員合格にはならず、教えることの難しさを痛感しました。

平成22年4月より医師会長と同時に学校長となりましたが、授業だけしていたのと異なり、学校行事（入学式・戴帽式・卒業式）への参加、教員確保や生徒たちの問題への対応により多くの時間を取られ、学校運営の困難さも体験しました。

昭和30年に児島准看護婦養成所を開設以来67年、1116人の卒業生を送り出しました。数的には大きいものではありませんが、小さな医師会がここまで活動を続けてこられたのは、児島医師会の諸先輩方と現会員の皆様の熱意と努力、関係各位のご理解ご協力ご尽力があればこそ。心より感謝いたします。時代の流れで児島看護高等専修学校は閉校しますが、その歴史は消えることはありません。卒業生諸君の更なる発展と活躍を祈念いたします。

児島看護高等専修学校 閉校にあたり
記念の集い「写真で辿る児島看護高等専修学校の歴史」



第十二代校長 難波 弘志

2017年に児島医師会設立70周年記念式典を開催した時に、医師会に保管されていた沢山の文書を読みました。

明治時代に県からの規則の布告による「児島郡医師会」の設立、また終戦後医師法の改正及び政令により、昭和22年11月1日付けの「児島郡南部医師会」の設立、さらに昭和23年4月合併により児島市が誕生し「社団法人児島市医師会」と会名が変更され現在の「一般社団法人児島医師会」に引き継がれています。

様々な書類に当時の先生方の大変苦勞された様子がうかがわれました。

そのような中で、昭和30年5月に地域で活躍する看護職員の養成を目的に「児島准看護婦養成所」を設立し、その後制度の見直しなどにより校名の変更はありましたが現在の「児島看護高等専修学校」に至っています。専任教員の確保、学生の指導に関わることなど様々な苦勞話が記載されていました。

小生が学校長、会長の職責を担っている時にも、専任教員の資格の要件に関する問題、また学生が不法な業務に関わっていることが発覚したことなど難問山積でした。様々な問題が重大な懸案にはならず解決できたのは岡山県保健福祉部担当課の方々の寛大な対応と児島医師会会員、理事の先生方また専任教員の先生方のご協力ご支援によるものと感謝いたしております。

国、厚生労働省が正看護師育成へと舵を切っていると感じる中、医師会設立の県内最後の一校となっていた准看護師育成学校の任務を十分に果たしたと思います。卒業生1,116名は児島地区だけではなく、県内～日本中でいろいろな立場で活躍しています。

閉校式には、伊東香織倉敷市長に来賓としてお越しいただきました。倉敷市からは補助金の交付、また最近では学生への奨学金の供与など、様々なご援助ご協力をして頂きました。誌面をお借りして厚くお礼申し上げます。

閉校式時の「写真で辿る児島看護高等専修学校の歴史」の中で、50数枚の写真を用意し、三宅先生、松香先生と3人で写真を供覧しながら「児島看護高等専修学校の歴史」を辿りました。懐かしい先生方のお姿を久しぶりに拝見し昔日の日々を思い起こしました。

今後も児島医師会会員一致協力して、倉敷市連合医師会とともに様々な業務に、また医師会運営に努めていただきたいと思いますので、ご協力ご指導をよろしくお願い申し上げます。

合同体育会の思い出



元教務主任 **中島 玲子**

昭和 63 年 10 月から准看護師教育に携わり令和 2 年 10 月で 30 年程になりました。
その後小児看護実習担当・非常勤講師として微力ながら教育に関わっています。

数多くの思い出がありますが、その一つに合同体育会があります。医師会立の看護学校は当時 9 校あり、各校が持ち回りで担当していました。平成 3 年第 30 回合同体育会は児島が当番校となりました。琴浦南小学校校庭で行なうことになり、看護学校担当理事三宅八郎先生を中心に準備を行いました。まず児島医師会の先生方に体育会の協力をお願いしました。会場にバスを連ねて県下の学校が来るので、駐車場の係を渡辺好政先生にお願いし、また表彰式の賞状書きを故山名正俊先生にお願いし・・・当番校であるのが一目瞭然であるようお揃いの白いジャージの上着を先生方は着用され、迎えました。

参加生徒数は約 600 名になります。児島らしい参加賞は何がいいか、児島といえばジーンズと考え、ジーンズのペンケースとしました。チロリアンテープも準備し試作品を依頼し、何回も会社と打ち合わせをしていきました。

琴浦南小学校の教頭先生と打ち合わせをすると「校庭に万国旗を張りましょう」と言われ、万国旗のはためく校庭で、合同体育会が始まりました。

児島で開催するので、「優勝するぞ」と生徒たちは競技の準備や練習を一生懸命したものでした。9 校の生徒が一同に集い親睦を図り向学心に燃える各校生徒の交流の場となっていました。

私は就職 3 年目での大きな大会で不安一杯でした。無事に終わる事が出来たのは医師会の先生方をはじめ各校の教員、本校体育講師、生徒のおかげと深く感謝しています。

9 校あった准看護師養成の学校は平成 10 年より閉校する学校が相次ぎ、平成 9 年の第 36 回合同体育大会で終了となりました。そして平成 15 年には本校一校となりました。

閉校することになり、惜別の思いがあります。卒業生の皆さんがこれからもますます活躍されることを願っています。

～永年講師 児島医師会会員～

「面倒、そして感謝」

感染症・結核、アレルギー疾患・膠原病 担当 西原 孝雄

この度看護学校閉校に際し、数十年にわたり講義に関与した個人の感想です。

はるか昔のことなので、またすぐに手元に資料も寄せられないのであやふやな記憶によるが、当初昭和 54 年頃まず放射線科の講義を依頼された。教科書中心に私の学生時代の本をひっくり返し急遽記憶を呼び戻した覚えがある。あまり興味のない分野だったので熱心にもなれなかった。1 年して今度は皮膚科の講義を依頼された。これも同様の手法で対処していた。2 年して表題の感染症とアレルギー疾患の担当になった。この分野は大学医局時代に肝臓主体に腎臓にも片足を少し突っ込んでいた身には内科の中心分野として幅広く知識を蘇らせるには大変役立ったことでした。為に講義が時に深く専門的になりすぎて生徒の反応がないときもあったのを記憶している。生徒については毎学年講義後に質問を寄せてくる生徒さんが 1～2 人いたものだが直近 7～8 年ではそのような熱心な生徒もいなくなってきた。看護師連盟が看護師＝正看を勧めだしてからやや遅れて敏感に反応する生徒が減ってきたようにも思える。教え方が下手になってきていたのかもしれないが個人的には表題通りで後半 20 年は年のせいでともすれば忘れがちになる知識を毎年晩秋の頃思い出させてくれる適当な勉強の場ではあった。感謝しています。

「児島看護高等専修学校の思い出」

坪井 淳

当院が昭和 55 年に開院して間もなくして学校の講師の依頼が来ました。それは、外科とはあまり縁のない、まじめに勉強していなかった微生物、その中でもウイルス、真菌、原虫、環境の微生物とさらに外科と縁遠いものでした。どうしようかと迷いましたが、あまり医師会のお役に立てていない状況でしたので、初心に帰ってもう一度勉強しなおすつもりでお受けしました。なんでも本気に学べば面白さも出て来るもので、いっばしの微生物学者気分で生徒と向き合いました。多分生徒も面白くない学問だろうと思いましたので、毎年落第生が出ないように一生懸命苦心してテスト問題を作成してきました。幸いなことに落第者は殆ど出なかったと記憶しております。2 年前に最後の入学生の講義を終えて、講師の仕事も終わりました。このような外科ではあまり経験しないような貴重な体験をさせて頂き感謝しております。看護学校がなくなるのは残念ですが、本学卒業生の益々の活躍を祈っております。

「児島看護高等専修学校閉校に寄せて」

吉村 勲

中学校の教科書にドーデの「最後の授業」と言うのがありました。それは、フランスのアルザスがドイツに占領され、フランス語で受ける最後の授業に感慨を持つ学生の話でした。

私の場合は、もう授業が出来なくなる淋しさです。この学校で「生きていくための武器を持て。」「苦手なことは置いといて得意なことで勝負しろ。」と繰り返してお伝えしてきましたが、いざ閉校が決まった時、私自身が皆さんからとっても良い刺激をいただいていたのだと実感したのでした。感謝申し上げます。くだらない授業もありました。秘密の合言葉は「ジョン・レノン」「X -Japan」でした。(授業をちゃんと聞いていた学生さんしか分からない)

君たちはよく頑張られて、他人に頼らないで人生を切り開いていくために、准看護師のライセンスを獲得されました。今年卒業された方も、ずっと前に卒業された方も、皆さん、お元気でいますか？辛いこともいっぱいあるだろうけれど、どうか自分らしくご活躍されていることをお祈りしています。そしてこれからも、自分の本当にやりたいことをするために挑戦してください。

私はと言うと、今も個展開催（抽象画、油彩）に向けて挑戦中です。良かったら足を運んでください。

洲脇 正雄

看護学校の講義を依頼されたのは、虫明長島愛生園、岡山労災看護学校に次いで3校目で、開業とほぼ同時期で30年と長い年月に係わって来た。中卒から大卒までと幅広い年代で、どの年代をターゲットとするかに苦心した。山畑で採れたアケビを持って来てご機嫌うかがいもした。6つ下の妻も看護学校の生徒となり、講義したり試験を採点したりした。

看護学校の歴史は自分の歴史とも重なり、文字として残るのも有難いことと思う。

「児島看護高等専修学校について」

妹尾 佳均

開業一年後の平成元年の夏から講義を始め、32年間いたしました。病院勤務時に看護学生に講義をしておりましたが、准看護学生は初めてでした。小児科を目指している学生は非常に少なく残念でした。小児に対する対応に不安を感じていたようです。講義の総時間は長くはなかったのですが、小児科のエリアは意外に広く、講義内容も多く、あまりなじみのないこともあり、大変だったようです。それでも頑張って勉強していた学生は少なくありませんでした。私自身は基礎勉強を繰り返すことで良い経験になりました。眠くなる時間のためいろいろと話題を加えて話しました。喜んでいただいたこともありました。最近は大学卒業生もいて、途中から看護への興味と必要性を感じる人たちが増えていたようです。現在、卒業生たちが准看護師、または看護師として現場に出て頑張っています。これからも患者さんのために一生懸命良い仕事をしてください。小児疾患に対する役に立てば幸いです。

「児島看護高等専修学校の閉校に際して」

チクバ外科胃腸科肛門科病院 竹馬 彰

児島看護高等専修学校で1年生の消化器外科の講義を担当して最初に試験を行ったのが1993年の9月でした。それ以降、2年生の資格試験前の講義と合わせて2022年まで29年間担当させていただきました。

最初の講義の際には自分なりに迷いながら準備をしたことを思い出します。多くの生徒の皆さんに関われたことは自分自身の成長にも繋がりました。中には卒業してしばらくしてから当院の職員になってくださった看護師さんもおられました。いろいろな意味でお世話になりました。

医師会立の看護高等専修学校が次々と閉鎖される中で、多くの卒業生を送り出すことができたことは、児島医師会の諸先生方のご尽力のおかげであり、大変意義深いことであったと思います。関係された先生方、職員の皆様、本当にお疲れさまでした。

児島看護高等専修学校は閉鎖されますが、卒業生が児島の地で学んだことを思い出してくださり、あんな先生もいたなと思いだしてくださればこの上ない幸せとおっております。皆様のご活躍をお祈りしております。

「看護学校の思い出」

胡谷 直

私は愛媛大学の出身です。学生時代の授業で思い出すのは当時の第一内科小林教授の最初の講義での、“臨床とはまさにベッドサイドである”という言葉でした。実際に臨床医学で学ぶ事は、教科書に書かれている事の真偽を個々に問う、と言う意味で患者から学ぶと言う意味です。解剖学の教室には“屍生師”（ご遺体から解剖を学ぶと言う意味の；屍は生きる師だ）と言う額が大題と誇らしげに掲げて有りました。解剖実習中にいつもラフマニノフのピアノコンチェルトが流れていたのを覚えています。児島で開業させて頂いて間もなく故古元先生から看護学校の授業をする様にお誘いがあり、それ以降毎年神経系の講義をさせて頂いておりました。なかなか最先端の進歩に追い付けず大変ご迷惑をおかけして来たと反省しております。児島看護学校は児島地区の開業医のスタッフをこれまでずっと支えて来ましたが、時代の変遷もあり、地域貢献と言う目的が徐々に希薄になってきました。

これまで学校に通って教科書を買って授業を受けて勉強するといった時代から、今やオンラインで多くの情報が即座に無料で入手できるこの時代において、すでに百年前から教育の在り方が米国でも問われて来たとある本には書いていますが、あふれかえるメディア情報の中から真偽を問うリテラシーが問われる時代になってきました。人工知能A I もさらに医療の世界に進出するでしょうが、真に心を持ったA I の開発はまだまだかも知れません。現代は高度医療が叫ばれており、ますます看護教育も専門性の充実が問われて行くようになると思います。この時代の変遷時において児島看護学校が果たされた貢献を心から検証し、そして尽力して来られた方々に尊敬の念を心から捧げたいと思います。長い間ご苦勞様でした。有難うございました。

藤田 俊弘

看護学校との付き合いは40年間の講義と10数年の担当理事ということになります。

講義の始まりは病原微生物、次に理学療法とあまりなじみのないもので講義に身が入らなかった思い出があります。次に得意の病理学となつてがぜん講義に身が入り、楽しく、自分にも生徒にも有意義な講義ができたと思っております。生徒たちも初めころよりはだんだん意欲も理解力もついてきて難解な内容にもよくついてきてくれました。もちろん日頃ハードな仕事、子育て家事をする人も多く、授業中、眠気で意識を失っていましたが、ちょっと面白い雑談には全員笑ってくれました。理事の思い出は入試の面接、入学式、戴帽式、卒業式、問題児の退学相談、できない子の留年問題、児島の高校への当校への出願依頼、等々、貴重な経験をさせていただきました。先生方が、いつも素敵で、まじめかつ優しい方ばかりでとても救われました。永遠になくならないつもりでいたので今回の閉校はショックでした。私にはとても良い思い出です。ありがとうございました。

大滝医院 大滝 俊宏

平成5年から「感染と予防」を担当してきたが毎年、授業内容の整理に苦慮し、教える事は学ぶ事を実感した27年間であった。2019年年末中国武漢にて新型コロナウイルス感染症がアウトブレイクし瞬く間に世界的流行となり多数の感染者、死亡者を出している中、空気（ミスト）感染（換気・マスク・防護服）、標準予防策（手洗い）、検疫（客船、技能実習制度、在日米軍）、診断方法（PCR・抗原検査）、保健所機能（発熱者の検査、感染者・接触者把握、感染者隔離（施設の確保）、不顕性感染（無症状感染者の存在）、感染症予防法（入院の勧告・措置、入院病床の確保、宿泊療養・自宅療養の問題点）、予防接種（mRNAワクチン開発・国内メーカー出遅れ）、液性免疫（中和抗体療薬）、細胞性免疫（抗炎症薬、factor X）、日和見感染（高齢者・基礎疾患）など授業で行っていた内容をまさに現実に目の当りにしている。今後発生が想定される新型インフルエンザのためにも今回の感染症対策の誤り検討と対策の改善が望まれる。最後の講義のあと生徒に「先生の授業はこれで終わりですか、もう会えないですか」と言われたことは、これほど教師冥利に尽きることはありませんでした。一期一会、児島看護高等専修学校卒業生諸君の人生門出に微力ながら助けになっていたら幸いです。

「“整形外科”とは」

三宅 孝弘

2005年、児島市民病院整形外科を辞し、以後看護学校の骨・関節・筋疾患の講義を17年間担当した。初講義は自己紹介の後いつも“整形外科とは（ ）と（ ）の外科である”という二語句解答の質問で始め、生徒達の関心を高めた。整形外科という名称は明治39年東大教授・田代義徳が漢学者・永坂石埭と相談して命名した Orthopedie の訳語である。

Ortho は矯正する、pedie は小児を意味している。一方、時代とともに整形外科の治療対象器官も広がり昭和の初め東大・高木憲次教授は（四肢）と（体幹）の外科から一字ずつ採って“肢體科”なる名称を提唱したとの記述も残されている。2000 年から提起された“骨と関節の 10 年”世界的運動、2007 年からのロコモ、そして最近のフレイル対策など、高齢化社会を迎えて整形外科の果たす役割は一段と高まって来ている。看護学校での講義が生徒達によって、少しでも世の為、人の為に役立つよう願っている。

「いつまでも懐かしく」

寺谷 彰芳

私が開業した昭和 62 年の翌年、看護学校担当理事の松田弘先生から電話があった。「看護学校で微生物の授業を受け持ってもらえないか」と。学生時代あまり勉強しておらず、生徒さんに講義をするなんておこがましい、とお断りをしたが断り切れず引き受けてしまった。

分かりにくく面白味のない授業だったと思う。生徒さんにはまことに申し訳ないことだった。だが、他人に教えるということは、自分も学ぶということである。私も学ばせていただいた。おかげさまで、臨床医としての日々の診療に大いに役立っていると感じている。感謝である。

また、妻（寺谷道子）も看護学校の音楽講師として数年間、音楽の授業を担当させていただいた。当時の看護学校校長、村山正則先生の「音楽で情操教育を」とのお考えによるものだったようだ。

夫婦ともども看護学校にかかわりを持たせていただいた。閉校した後、いつまでも懐かしく思い出されることと思う。

「お絵かき先生」

岡 秀行

看護学校で教えることが好きでした。

児島看護専修学校では 18 年間講師をさせていただきました。父から内科医院を継いだのと同時に父が担当していた「消化器の解剖生理」を引き継いで、それからずっとです。

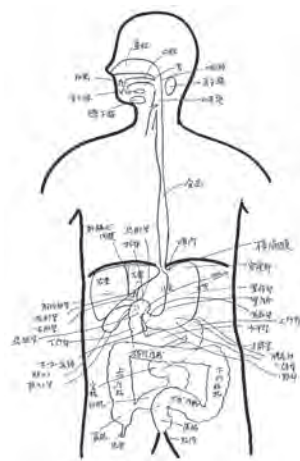
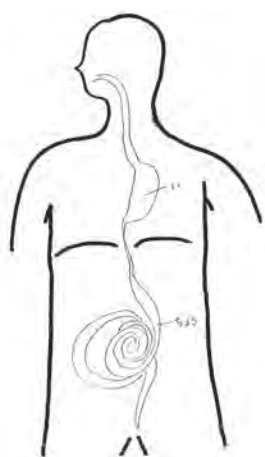
じつは同じ時期にちがう看護学校でも教えていました。倉敷看護専門学校（二年コース）で「呼吸器疾患」を担当していたのです。でも残念ながら倉敷看護専門学校も児島看護専修学校と時を同じくして閉校することとなりました。

振り返ってみると毎年 4 月から 5 月にかけて児島で「消化器」を教え、6 月から 8 月にかけては倉敷で「呼吸器」を教えるというサイクルを 18 回繰り返したことになります。我ながら飽きもせずよくやったもんだと思います。

とくに倉敷の学校では午後 1 時から講義がはじまるため 12 時半までに外来診療と「早弁」をすませて学校にすっ飛んでいました。よっぽど教えるのが好きだったんですね。

二つの学校を兼務していることもよかった。毎年児島看護専修学校の卒業生 20 人のうち 5 人ほどが正看の資格をとるために倉敷看護専門学校に入学してきます。倉敷の最初の授業では「また会ったね」と、彼らとの再会をよろこびあったものです。

児島の授業では「消化器官の形と名前が書けること」を最低限の目標としていました。最初の授業では抜き打ちで「あなたの知っている消化器を描きなさい」という課題を出します。何の知識もない生徒たちは四苦八苦しながら左のような絵を描いてきます。



そんな生徒が最後の授業が終わったときには右のような絵を描くようになります。

内臓の細かい記憶は消えてしまうかもしれませんが、自分自身で一通り内臓の絵を描いたという記憶はいつまでも残ります。これが彼らの自信につながればいいなと願っていました。

～卒業生代表～

===== 倉敷市立市民病院 看護部 **斉藤るみ子**

児島看護高等専修学校が令和4年3月をもって閉校になる事に、驚きと共にとても残念な気持ちで一杯です。昭和30年の開校以来67年間にわたり、多くの准看護師を輩出してこられました。私も卒業生の1人になります。今回の閉校記念誌の発行に当たり思いを綴らせていただくことになりました。

私が、在学していたのは、昭和61年から平成元年の2年間になります。当時は昼間働きながらの勤労学生が在学生の大半でした。岡山県内にも当校を含めたくさんの准看護師専門学校があり、合同で看護研究発表会や運動会なども開催されていました。他校との交流の場となり、勤労学生同士が切磋琢磨しながら、勉学に励んでいた事を思い出します。働きながらの勉強は大変ではありましたが、今では懐かしい思い出となっています。

また当時は、所属の病院や開業医で業務に携わり、患者さんに関わることも多くありました。その時の経験から、看護師となり就職してからも、スムーズに実践に臨むことが出来たように思います。しかし、最近では、コロナ禍により実習が出来ず、学内実習だけで医療現場に出なければならない現状となっています。学生たちの不安は計り知れないものがあると言っていいでしょう。今までは看護学校の臨地実習は当たり前のように行われて来ましたが、しかし、実習ができることの大切さを痛感しながら、実習受け入れのあり方を考える良い機会となりました。そして、私自身、看護師として自病院で働く中で、学生指導や授業の講師としての立場も経験させてもらいました。その経験は、自分が学生だった頃の忘れかけていた初心の気持ちや、現在の看護師としての姿勢を振り返るきっかけになるなど、学生から学ぶこともたくさんありました。今後は、児島看護高等専修学校からの実習生の受け入れはなくなりますが、他の看護学生に対しても、看護師の先輩として恥じないように、自分自身を成長させ、後輩育成に努めていきたいと思っています。

私にとって、看護師になった原点である母校がなくなってしまうことは寂しいという思いしかありません。しかし、学校という形はなくなりますが、「歴史」そして「思い出」として私の心の中には残ります。その歴史や思い出を大切にしていきたいと思っています。

最後になりましたが、児島看護高等専修学校の発展のためにご尽力いただいた歴代の校長先生をはじめ、医師会の先生方、教職員の方々に感謝申し上げますとともに、同窓生の皆様のますますのご活躍を祈念して、閉校に寄せるご挨拶に代えさせていただきます。

===== やまな内科整形外科 **塩田 恭子**

看護師を志したのは、看護師の従妹が「努力すれば評価される職業だ」との言葉だった。何も目標がない自分の心に素直に入ってきた。勤労学生という道があることを知り、山名病院（現やまな内科整形外科）に就職が決まり、児島看護高等専修学校に入学した。高校を卒業し、一緒に就職した田中（旧姓洲脇）由美さんと寮に入り、看護学生として仕事が始まった。

同期は私を含め12名で、15～36歳。地元が殆どだったが奄美大島出身もいた。所属先も皆違い、お互いの苦悩を慰め合ったり喧嘩もした。いつも授業は睡魔が襲い、試験前はその分一緒に勉強した。体育は中山公園で実技をし、美術は近くの海を描きに出掛け、行事は遠足、修学旅行は「南紀白浜」。

一年次の合同運動会は、児島看護が当番校で琴南小の運動場が会場。少ない学生と教職員で準備中、山名先生が自転車で颯爽と来られた。上下白のジャージと白い野球帽。周囲の先生方も同じ服装で揃えられ、私達より張り切っているのがちょっと笑えた。先生方が白のジャージで整列した姿に特別感があった。

その後苦手な実習を乗り越え、准看護師資格試験にも合格し、一名も欠けることなく卒業できた。志した理由も年齢も環境も違う12名だったが、資格取得という目標一つで達成できた。この場を借りて、改めて同期と教職員、医師会の先生方に、私を支えて下さった事にお礼を述べたい。

一昨年、縁あって整形看護の授業に講師として行かせてもらった。学生が睡魔に襲われないよう工夫したが評価はどうだったか…。私は今も田中由美さんと、やまな内科整形外科で看護師として努力を続けている。

===== 児島第一診療所 **小割あゆ美**

不思議なご縁で、現在勤めている介護施設で最後の学生の実習を受け入れる事となり、後輩を指導するという貴重な経験をさせて頂きました。

クリスマスには学生さんが楽しいクリスマス会を企画し、披露して下さいました。利用者様もとても喜んでおられ、職員一同感謝しています。クリスマス会で学生さんが着ておられた実習着が、私が学生だった頃と変わりなく、若かりし頃の看護師になりたい！その思いだけで我武者羅に突き進んだ日々を思い起こさせ涙が出そうになりました。

児島看護高等専修学校は、一旦社会に出て、思う所があり、学びたいと思う者を受け入れて下さる貴重な場だったので、閉校はとても残念ですが、最後にこうして関わらせて頂いた事を光栄に思います。

私にとって良い思い出となりました。ありがとうございました。

===== 三宅医院 **山下かずみ**

私は15年間医療事務で仕事をしていましたが、看護師になる夢を諦められず4年前45歳で児島看護高等専修学校へ入学しました。専修学校の2年間は思い起こせばあっという間でかけがえない私の財産です。

我が子のような年齢のクラスメイトとの仲間づくりに始まり、臨床実習の間は記録に追われ、寝入ってしまわないよう布団に入らず休み、難しい授業に試験、勉強と向き合う毎日でした。涙がでるような辛い時も、共に頑張る仲間の姿があり、学校の先生方の温かい見守りがあったからこそ乗り越えて来られたのだと思います。

67年間の長い歴史をもつ母校が閉校することはとても寂しく感じますが、私にとって看護の道への始まりの場所、生き方として看護の道を選んだ自分の心を勇気づけてくれる存在です。ここで学んだ教えと思いやりを大切にして、看護の手と目が多くの患者様に提供できる看護師になりたいと思います。

[illegible]

菱川 和代

いろいろとお世話になり、ありがとうございました。

児島医師会の今後の繁栄をお祈りしております。

[illegible]

佐原由紀恵

看護学校が閉校すると聞き驚きました。いろいろな体験をさせていただいたことが思い浮かびなつかしいです。長きにわたり支えて来られた教職員の皆さまおつかれさまでした。

[illegible]

水烟 美穗

学生達は年令や背景の違い等がかえって人生勉強にもなり多く学を得たと思います。戦後看護師養成急務により各種学校が発足しましたが時代の流れもあり閉校もやむを得ずですが、その功績は歴史上大きいと思います。

山口 聖美

山口 聖美

看護教員となって11年間、教えるために学び、また多くの学生から学ばせてもらった。

本校に入学してくる学生は、心持ちが優しく、芯が強く、自分の道を自分で切り開いていく力をもった子が多かった。この学生たちとの出会いに心から感謝したい。

[illegible]

岩崎 恵美

閉校…いつかは来るだろうと頭の片隅にはあったが、どうしても看護教育に携わりたかった。たくさんの人に出会い支えられたこの9年間、私の看護の幅は広がりました。感謝しています。さあ、看護師としてもうひと踏ん張り！社会貢献できることを願って…

木村ひとみ

木村ひとみ

実習・講義、ケースレポートや行事に関わることができた。生徒が実習で大きく成長することに喜びを、資格を手に旅立つ姿に寂しさと誇らしさを感じた。

すべての記憶は、美しいセピア色の思い出になっていく。

江見 尚哉

江見 尚哉

事務の立場から、学校運営や学生指導の難しさ、それらを乗り越えてきた教職員たちの努力と成長を見てきました。私にとっても貴重な学びの場でした。それが消えることをとても残念に思います。



見上げ
M. Miyayama '04

第 3 部

資料

「67年の思い出」

67年間の思い出写真



児島准看護婦養成所創設（昭和30年5月）



戴帽式



看護教員による指導風景



校舎を児島市味野1609番地へ移転（昭和35年）



岡山県准看護師養成連合会結成（昭和37年）



当時の授業風景



医師会館および准看護学院着工（昭和48年）



山名堅二会長による鍬入れ

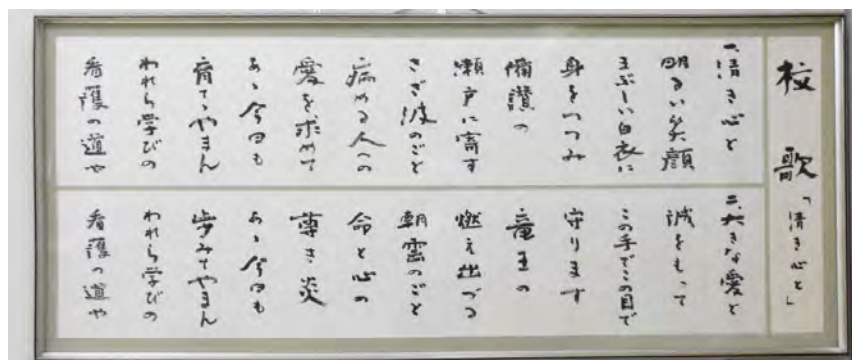
校章制定（昭和62年）
校旗制定（昭和63年）



村山正則校長より卒業証書授与



校歌「清き心と」制定（平成2年）



准看護学院合同体育会（昭和37年～平成9年）



医師会員の先生は揃いのユニフォームで



入学式・卒業式



岡田由夫校長（昭和54年 第25期生 入学式）



村山正則校長（昭和62年 第31期生 卒業式）



渡辺好政校長（平成4年 第38期生 戴帽式）



山名正俊校長（平成12年 第44期生 卒業式）



三宅八郎校長（平成17年 第51期生 入学式）



松香陽子校長（平成22年 第56期生 入学式）



難波弘志校長（平成25年 第57期生 卒業式）



渡辺英臣校長（令和2年 第66期生 入学式）

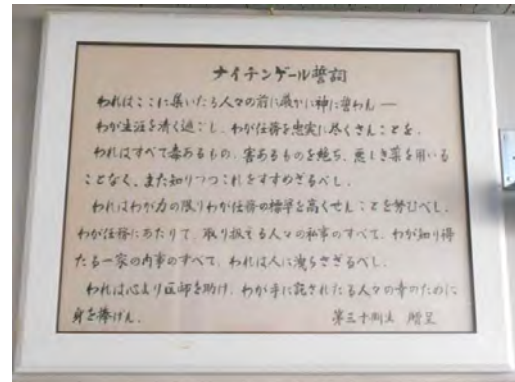
戴帽式



ナイチンゲール誓詞唱和



ナイチンゲール像から灯を受け取る



ナイチンゲール誓詞



戴帽式での祝辞



平成30年 第64期生 戴帽式



ナイチンゲール像



戴帽式後の交流会（教職員によるハンドベル）

修学旅行



鎌倉旅行 平成2年 第35期生



沖縄旅行 平成16年 第49期生



韓国旅行 平成24年 第57期生



北海道旅行 平成27年 第60期生



大阪旅行 平成28年 第61期生



有馬温泉 令和元年 第64期生

球技大会（ソフトバレーボール） 中山体育館にて



学内活動・遠足



鷺羽山展望台にて



旧閑谷学校にて

学内看護実習



看護実習着



高齢者体験キットを用いて



滅菌包みの開け方



マニュアル作成



手術時手洗い



送管手順の確認



洗髪車を用いての洗髪



看護学生はいつも笑顔で



後頭部もしっかり洗髪



診療の介助



調理実習で嚥下ソフト食作成



高齢者の乗車体験



車椅子移送



感染防止の技術



演習で使用したともし人形



手術室実習前の演習を終えて

クリスマスイベント



令和元年 第64期生 倉敷市立市民病院5階病棟にて



令和3年 第66期生 児島第一診療所 通所リハビリテーションにて



令和4年3月5日 閉校式



渡辺英臣 児島医師会会長兼校長



伊東香織 倉敷市長



難波一弘 倉敷市連合医師会会長



外部講師および実習施設への感謝状および記念品贈呈



校歌独唱（山崎泰弘 元副校長）



校旗返納

卒業生名簿（卒業証書番号順）

第1期生
昭和32年卒業:13名

矢延 恵美子
辻 秋美
石田 静恵
板田 節子
近藤 日出子
宇野 スミ子
美濃 マサ子
岡 愛子
土居 淑子
鳥越 敬子
中塚 徳恵
上野山 千恵子
石黒 和子

第2期生
昭和33年卒業:11名

乾 福子
藤崎 玲子
黒岩 順子
竹島 純子
道之前 暉子
打越 勝代
高山 美重子
高松 道子
千田 美恵子
小野 紀久子
山内 邦子

第3期生
昭和34年卒業:14名

磯田 滋子
山本 導子
櫛引 恵津子
小松原 茂子
岡口 ヤヨイ
美甘 道子
清水 和子
東 茂登子
寺地 万恵
北井 育子
分部 万里子
田井 啓子
齋藤 芳江
山本 千枝子

第4期生
昭和35年卒業:16名

枝松 一女
鎌田 恵美子
小林 志保子
高橋 尚子
木下 澄子
深田 幸子
綾田 恵美子
大倉 節子
瀧満 和子
大呂 美智子
岡田 久子
坂本 公子
黒岡 勝美
竹井 利子
川上 八重子
杉本 美智子

第5期生
昭和36年卒業:17名

笹井 弘子
西中 郁子
中村 節子
長瀬 則子
大崎 京子
吉井 弥栄子
永島 千賀子
畑中 朝江
拓野 道子
石井 和子
荒木 須美子
平川 澄子
吉行 美恵子
西崎 玲子
榊原 美津子
白川 美代子
岡野 美恵子

第6期生
昭和37年卒業:12名

中司 敏子
近藤 千年
武内 眞喜子
白根 資佳子
安江 満子
齋藤 眞佐子
濱越 久美子
亀山 美子
莊田 保子
山崎 幸江
岡林 富士江
黒瀬 春美

第7期生
昭和38年卒業:10名

堀尾 政美
古米 泰子
岡田 寿子
中田 照美
岡本 友佳
薦田 捷子
佐藤 千鶴子
珍行 夏江
小割 光子
畑 昌子

第8期生
昭和39年卒業:22名

草地 絢米	原 喜保子
安達 ミヤ子	宮中 澄子
西原 禮子	小林 豊子
曾根 公子	小林 敦子
森安 和加恵	今瀧 妙子
桑原 薫	上村 登志恵
矢野 英子	金山 民子
間部 佐智子	西田 芳子
中村 壽子	中村 佐代子
畑中 瑞恵	水島 愛子
田原 住子	中田 出鶴美

第9期生
昭和40年卒業:23名

久保 千代子
石井 シゲ子
田尻 フミ子
岡 照美
槇原 美智子
川上 弘子
宇土 満智子
田原 恵智子
立石 つや子
小郷 美津枝
尾崎 繁子
足立 和江
垂井 榮子
松下 初子
安藤 美智子
洲脇 弘子
野村 久代
伊藤 敬子
柏野 未子
藤原 英子
隠地 ウキ子
吉田 みゆき
山下 憲子

第10期生
昭和41年卒業:26名

足立 幸枝
川中 弘子
笠石 友子
柏原 弘子
長船 昭子
国統 秀子
中山 文子
赤木 百合子
高木 ユミ子
瀬野 朝子
太田 一二三
長畑 時子
高岩 サカエ
堤 帛興
原 光代
吉原 かず子
神崎 宏美
土居 きよみ
岡村 由紀子
馬淵 節子
片岡 京子
須山 幸子
多田 幸子
北岡 チヨコ
広坂 久江
井上 隆恵

第11期生
昭和42年卒業:22名

角南 友子
川上 信子
難波 邦子
大江 悦子
松浦 怜子
早島 さかゑ
八田 美恵子
川上 厚子
森 京子
海老 孝子
守田 京子
堀 則子
三上 啓子
小島 廣子
守屋 教子
宝蔵 久子
田村 春美
石原 和子
門木 和子
坂田 好子
神田 みずえ
中山 洋子

第12期生
昭和43年卒業:28名

寺田 芳子
藤井 初子
岡 ちづる
齋藤 道子
竹田 未香
荻野 啓子
佐藤 悦子
小畑 佐知子
鶴川 恵美子
吉田 優子
平野 英子
谷山 喜美子
岡野 由美子
緑川 ムツヨ
森川 壽子
須本 幸子
大久保 富久美
榮 まり子
石阪 美智恵
橋岡 久枝
山下 博美
菊地 妙子
福田 かつえ
石井 富美枝
新屋 妙子
鶴川 純子
広野 克子
山中 敏江

第13期生
昭和44年卒業:28名

山田 正世
上垣内 啓子
岡野 照美
宗石 初世
高橋 知子
北西 操
大澤 ひろえ
重富 三枝子
難波 緑
船橋 文江
洲脇 婦喜枝
吉田 令子
中村 千鶴
三宅 千代子
大山 博子
鳥羽 房子
出宮 敏子
亀谷 好子
矢野 都
奥田 恵理子
宇野 邦恵
松清 すみ子
妹尾 奈美枝
森 恵子
岡野 朝子
宮武 かえで
植松 和子
喜田 美智子

第14期生
昭和45年卒業:17名

上浦 恭子
中村 真知子
大西 キミ子
小松 敏子
奥村 英子
福本 晴子
中山 とき子
渡部 繁
実平 五十鈴
田岡 美枝子
長谷川 久美子
本田 眞知子
長江 文恵
神田 美幸
國安 嘉子
片山 初江
岡本 早苗

第15期生
昭和46年卒業:22名

平田 恵美子
畑中 裕美
丸本 文子
鈴木 恵子
赤堀 美保子
森本 泰子
井名 法子
松坂 美恵子
三宅 光子
鈴木 智子
植木 洋子
山崎 静恵
竹中 千恵美
畑 幸子
浜田 千恵子
山本 恵美子
中田 富恵
山形 香代子
濱 悦子
岡野 久美
井原 恵子
本田 絹枝

第16期生
昭和47年卒業:21名

藤原 淑子
安本 秀美
永田 徳子
森本 美佐保
岡本 鈴子
河原 鶴代
高橋 純子
笠井 則子
山本 洋子
高尾 厚子
尼崎 町子
清水 紀代子
鈴木 壽子
久保木 敏江
堀 妙子
茶谷 二三代
清時 敏子
溝川 和美
小川 育子
野坂 裕美子
井場 廣江

第17期生
昭和48年卒業:16名

清原 千恵子
宮本 眞理子
石井 順子
藤沢 清美
岡野 好香
小林 京子
柚木 文子
占部 千秋
福本 里枝
黒木 たえ子
佐々木 和子
船隠 栄子
石川 啓子
長岡 克枝
福光 友子
菅原 佳世子

第18期生
昭和49年卒業:18名

藤沢 愛子
岡 早苗
原 英子
松下 実千代
梶房 久美子
中園 直美
兼中 勝野
熊本 智徳子
奥田 明美
光田 美智恵
斉藤 益美
田原 幸子
柴坂 茂美
波金 芳美
梅村 孝子
西原 育子
山本 洋子
渋谷 留美

第19期生
昭和50年卒業:12名

磯山 恵子
上田 すえの
角本 和枝
千田 正子
鳥元 嘉津枝
上田 けい子
大角 成美
角田 春美
井上 るり子
文山 みどり
若原 恵美
宇川 早苗

第20期生
昭和51年卒業:11名

荒尾 さよ子
西村 加津栄
河原 町子
河合 美奈子
大原 喜久子
佐伯 直美
大森 妙子
青木 みゆき
石畑 和子
土居 よしみ
三宅 万里子

第21期生
昭和52年卒業:8名

柏野 枝津子
内田 幸子
山本 久美子
武下 幸子
渡辺 敏美
水口 由美子
藤元 敬子
林原 登美枝

第22期生
昭和53年卒業:8名

北谷 みどり
南 明子
藤原 梅子
小野 久美子
佐々木 ひろみ
中武 聖子
請川 幸子
長谷川 睦美

第23期生
昭和54年卒業:4名

中川 マサエ
藤森 和子
小室 由美
西橋 清子

第24期生
昭和55年卒業:17名

篠原 照子
南 順子
松本 いずみ
中田 昌子
横山 美登利
岡本 祐子
赤瀬 京子
泉 悦子
星島 典子
入江 百合
高森 成子
今村 清美
川田 生子
富岡 弘美
朝原 菜帯美
登尾 律子
林 美恵子

第25期生
昭和56年卒業:20名

片上 トミ子
武 眞弓
此村 鶴代
宮川 善子
小柳 美香
北澤 千代子
小塩 ハマ子
大崎 由加里
嶋田 静枝
坂本 富子
浦川 尚美
岡田 真澄
山下 小織
高木 友美
板谷 千保美
井上 よし子
楠瀬 正子
村上 直美
和気 陽子
半田 早苗

第26期生
昭和57年卒業:15名

小田 真理
井上 弘子
餘語 眞佐子
江田 利香
井上 久恵
山崎 ほずみ
藤元 英子
丸山 理恵子
田中 広子
須崎 直美枝
西岡 美枝子
岡本 通恵
田中 三代子
木口 清美
沼田 和恵

第27期生
昭和58年卒業:19名

川口 法子
杉江 和子
洲脇 麻理子
岡 ひろみ
阿比留 寿恵
吉田 由美子
田中 映子
塩見 寿香
山田 勝子
伊藤 亜紀子
笹野 伸子
佐藤 和江
南澤 泰子
大平 真由美
小倉 淑美
大月 美奈子
久保 雅子
大西 睦美
青陰 真抄美

第28期生
昭和59年卒業:16名

角野 洋子
三棹 昌美
高見 ゆみ
渡辺 里美
呼元 佐智子
福田 美佐保
遠藤 峰代
松成 由紀恵
北澤 明美
香月 和美
吉本 五月
坂本 清美
沼田 満代
信井 礼子
大野 美保子
松本 栄

第29期生
昭和60年卒業:19名

井口 里美
森田 美由紀
小野 満里子
後藤田 友子
松浦 照江
中田 恭子
山崎 道子
片山 訓江
岡本 美加
笠原 利江子
林 福枝
小倉 恵美子
宮脇 栄
山形 久枝
光田 和代
洲脇 ひとみ
藤原 陽子
井川 ひとみ
山本 美雪

第30期生
昭和61年卒業:17名

夏田 千鶴
伊藤 久美子
元宗 富貴子
岡田 浩子
野上 まさえ
河内 奈美恵
三宅 多岐
須元 一美
佐藤 早苗
砂野 恵子
難波 伸枝
渡辺 恵
田中 久美子
沼本 志王利
守屋 好子
卯目 千里
吉田 真由美

第31期生
昭和62年卒業:14名

石井 奈美子
大田 真理子
吉田 由美
佐々木 美芽
本倉 りか
谷島 仁美
佐々木 明子
坂本 久美子
三隅 美由紀
仲前 久美子
林田 浩子
中田 加代子
田辺 曜子
新谷 栄

第32期生
昭和63年卒業:11名

松本 幸枝
石川 由美
岩成 純子
中岸 奈津美
横尾 洋子
小川 桂子
吉川 恭子
浅原 弘美
藤井 純子
森 弘美
下田 真由美

第33期生
平成元年卒業:18名

蜂谷 みゆき
村上 美智子
斉藤 るみ子
黒川 富佐子
原 晶子
田近 智洋
居相 恵子
高安 貴恵
木村 トシ子
谷口 祥子
谷本 文江
田村 尚美
西野 靖子
片山 静江
永禮 知子
矢野 みずほ
河口 真由美
岡崎 純子

第34期生
平成2年卒業:14名

西山 潤子
宮崎 千佐子
塚本 透子
賀原 由紀子
小仙 寿美恵
小林 真由美
藤原 陽子
田丸 好枝
難波 里美
瀧元 三知代
坂東 美香
東山 英子
花田 千晶
小松原 早苗

第35期生
平成3年卒業:15名

明石 光代
高橋 美紀
下津 由華
楮原 さおり
城野 ルミ子
仲前 恵子
大坂 真由美
鈴木 純
竹内 直美
田中 美佐子
豊島 明子
埜 かおり
梶 なつ美
二階堂 準
大石 明子

第36期生
平成4年卒業:10名

岡部 利枝
石原 いづみ
奥野 三和
日渡 真里
田渕 三佐子
若井 恵子
高原 愛
三宅 里美
室 洋子
柴田 志津恵

第37期生
平成5年卒業:12名

石井 加代子
尾崎 玲子
尾池 明実
小野 智恵子
河野 明子
田中 由美
菅根 秀子
竹之内 弓恵
藤本 加恵
西谷 ひとみ
塩田 恭子
安藤 のり子

第38期生
平成6年卒業:8名

浅川 忍
金山 干菜
佐々木 美穂
相原 真由美
中條 正子
中山 和美
宮崎 真由美
白神 里美

第39期生
平成7年卒業:10名

安藤 晶子
岩城 清美
片山 布海子
岡野 啓子
尾崎 千夏
河田 千秋
児島 早苗
洲脇 美和
幡基 正美
原 律子

第40期生
平成8年卒業:13名

明石 真利恵
明石 三紀子
池本 義信
岡内 薫
菊本 みどり
鷺原 忍
白水 かおり
鈴木 多美恵
土井 忍
中山 慎一
松永 由香
松本 美佐子
村上 留美

第41期生
平成9年卒業:19名

浅野 司朗
糸野 美保子
平田 裕美
高畠 千佳子
大家 正子
奥野 景子
木曾 さおり
山口 幸代
笹野 由美
高畠 聡
辰己 陽子
寺田 養
平口 和美
藤原 圭吾
八木 春奈
宮崎 愛果
村上 泉
森 千賀子
山崎 留美

第42期生
平成10年卒業:20名

菊池 愛実
松本 泰子
池本 公子
魚住 絵里奈
佐藤 美穂
片山 礼子
藤長 千春
高城 絵美
井上 由有
合田 知美
佐々木 恵子
島田 清志
住田 純
洲脇 尚美
清家 敏幸
平野 利枝
深田 留美
福添 恵寿
山口 亜砂美
三宅 和彦

第43期生
平成11年卒業:20名

石合 伯子
江見 香織
河村 由果
角海 茜
片上 伊津子
柏野 恵里
鎌田 香澄
河野 恵里香
合木 弘美
赤堀 鮎美
大下 みどり
三宅 美紀
島田 涼子
小郷 亜弥
塩田 由美子
濱田 孝雄
政本 三津子
丸山 千恵
横瀬 律子
仲田 知美

第44期生
平成12年卒業:20名

石井 美智代
石原 美幸
井手 政子
岩崎 恵美
新田 七重
上東 真基子
小野田 嵐
梶内 芳郎
片山 奈津子
小津野 真美
里見 由佳
杉谷 恵里
田口 淳
小割 あゆ美
田口 紀美
新田 健二
林 麻記子
餅川 真由美
山根 里美
横山 優子

第45期生
平成13年卒業:18名

福島 怜子
石部 伸之
岡野 裕子
木南 潤
古賀 幸子
後藤 千秋
小西 さおり
坂部 義夫
明石 聡子
内藤 雅文
中蘭 真介
片山 裕子
林 昭子
瀬戸 智美
藤丸 美由紀
三宅 麻美
宮崎 洋子
高木 鈴子

第46期生
平成14年卒業:16名

山本 弓佳
岡野 和美
志多 晴美
十河 美喜子
十河 康之
亀川 博美
谷川 えみ子
玉貫 真由美
田村 幸二
福瀧 摩衣子
中本 早苗
福瀧 宜良
皆木 佳那子
三浦 由希子
百井 淳子
金秋 智子

第47期生
平成15年卒業:22名

入江 美佳
鶴川 ゆみ
岡崎 美佳
岡野 良恵
岡本 共美
川上 由美
小山 貴大
瀬川 美真
千田 壮一郎
高尾 尚子
谷吉 保美
内藤 正子
中村 美栄
西原 真理子
花本 政文
佐川 絹代
林田 奈緒美
古市 美加子
古谷 安子
物部 久美彦
松下 博樹
村上 芽

第48期生
平成16年卒業:23名

伊藤 妙子
稲田 紀子
大北 純子
岡田 千帆
川添 真理子
岸本 真弓
斎藤 絹代
芝田 由佳
須山 歩美
岡崎 九実子
田中 樹里
戸羽 潔美
西野 健治
野村 光子
原田 美登里
藤井 堅司
藤原 千加
藤原 優子
三村 祐未
森 勝彦
山崎 隼子
山下 麻衣
渡辺 秀美

第49期生
平成17年卒業:18名

大畑 雅紀
岡本 冴子
小笠原 幸枝
片山 理恵
木口 律子
黒住 雅子
源田 真弓
田井 優希
田邊 三子
豊田 陽子
中島 志保子
中野 恵
中村 訓子
永谷 広美
新田 直弘
松林 弥生
三宅 裕美
佐藤 恵

第50期生
平成18年卒業:21名

穴井 和美
金子 幸江
加村 充世
古閑 久美
高島 弓子
高見 誠
中澤 一枝
長尾 千寿美
西山 奈美江
橋本 奈奈
濱崎 美菜子
半田 美和
福田 歩
福田 翔香
藤本 貴子
藤原 裕子
保坂 賢介
松田 香
宮本 三千穂
山口 香奈
吉原 史絵

第51期生
平成19年卒業:21名

池田 由佳
井上 萌
片山 菜穂子
神島 千恵
榎 美代子
川上 博子
上社 麻里
久内 文
高木 美穂
高島 年毅
高橋 千鶴
塚本 憂起
中野 理恵
中山 美紀
花本 梓
人見 道子
古川 佳史
益森 温子
三原 恵美子
宮崎 規子
山本 麻衣

第52期生
平成20年卒業:19名

伊藤 みかこ
庵谷 理恵
瓜生 公美
遠藤 大輔
大玉 知子
大塚 沙綾
大森 由貴
山田 麻美
西郷 とし美
実平 絵美子
清水 由美子
杉本 大輔
高杉 加世子
天納 真理
中山 明子
難波 希久子
松島 由枝
真鍋 正昭
山口 道代

第53期生
平成21年卒業:15名

井上 大輔
谷川 よしみ
小原 未姫
河本 博之
坂田 沙希
塩屋 雅美
清水 久仁子
田中 久美子
中村 真弥
萩原 薫
原 祐介
藤岡 邦昭
藤原 由香
山本 香織
渡辺 友美

第54期生
平成22年卒業:15名

石井 瞳	谷口 陽子
板野 滋子	永山 稔子
伊藤 大輔	奈良木 裕子
奥野 純子	松野 沙織
柏野 弘美	三宅 恭子
片山 尚子	森 奈穂
川上 祐子	山下 恭香
白崎 賢二	

第55期生
平成23年卒業:21名

池本 真弓	平野 亜矢子
上田 昌寛	富士埜 禎子
神島 綾	藤原 清
河島 弘子	星島 真知子
喜田 祥子	牧 恵子
合田 真利子	右田 佳代子
妹尾 裕子	南 紗希
辻岡 由佳	宗廣 亜美
二階堂 恵	安本 有里
西風 聡美	山崎 名誉次
花本 修子	

第56期生
平成24年卒業:18名

岩井 尊子
小野田 憲子
隠塚 恵夢
上荒 えり
小林 佳苗
佐藤 由加里
島田 佳絵
高田 真理子
高橋 知子
田渕 晴香
中馬越 由佳
福島 和義
福森 由紀
藤田 千尋
藤原 絵里子
松原 源
森山 久美
山本 真巳

第57期生
平成25年卒業:18名

明石 真由美
安部 正吾
太田 沙織
小川 真理子
小田垣 美佐
片山 芙美江
兼高 耕平
久戸瀬 稔子
鈴木 貴子
鈴木 真美
田之原 優花
富松 肇子
洙田 文美
難波 邦子
久本 徳子
山崎 佳奈
山西 かおり
雪吉 未希

第58期生
平成26年卒業:19名

伊藤 祐子
入船 美由紀
岩本 永理
上田 理恵子
川田 江実
神田 健太郎
喜田 尚子
栗本 尚子
新谷 幸代
徳永 恵
友野 杏梨
中奥 寛
中村 育子
難波 聖
能登 裕子
八石 実幸
藤田 宏美
吉田 尚美
分部 彩

第59期生
平成27年卒業:23名

赤沢 潤子
上殿 和美
尾崎 美穂
河瀬 菜生
向崎 早苗
鈴木 大輔
千崎 真歩
高田 加奈子
西崎 久美子
西崎 有香
野口 奈美恵
芳賀 優子
林田 純一
福岡 双葉
藤本 由理
藤森 友紀
本郷 美紀
松田 美沙
村上 香織
森中 万喜
森永 清和
矢津田 るり
山本 弥生

第60期生
平成28年卒業:21名

石井 彩央里
岡野 有紀
岡本 梨絵
金谷 泰葉
茅野 由祐
岸本 浩司
木村 美鈴
渋谷 朋子
鈴木 詩菜
高橋 遥
竹内 利行
武元 健二
谷松 聡子
時松 久仁子
仲座 美恵
畑中 成美
藤井 敬子
藤原 芳恵
古田 奈美
三宅 安伊子
横山 江里奈

第61期生
平成29年卒業:22名

石原 真智子
伊東 ルミ
井上 徹
井上 仁美
伊禮 裕起
梅津 美穂
江田 華子
岡部 美沙
奥田 博子
木口 孝子
倉岡 祐樹
小西 まゆ
志田 智美
島 三佳
住井 香璃
關藤 二三乃
林 敦子
東森 和夏
松崎 亜矢子
南 篤吏
山下 裕之
渡部 由美

第62期生
平成30年卒業:20名

池田 佳代
池本 真野
石田 亜紀
石野 蘭瞳
一坪 真司
植田 知恵
岡川 真未
小川 敦子
貝原 裕子
河島 涉
下里 綾乃
田中 沙知
玉谷 美和
中村 佐和子
萩原 美保子
舟倉 雅俊
本田 加苗
三宅 由紀子
吉原 佳月
渡辺 梓

第63期生
平成31年卒業:17名

安東 洋雅
安藤 真奈美
池田 紗恵子
石原 康裕
大森 幸枝
岡本 愛海
神原 奈穂美
小松 小春
近堂 温美
嶋田 智美
下里 有香
高森 詠子
田澤 佑香梨
中村 友香
西宇 彩也香
長谷川 萌夏
濱田 朱音

第64期生
令和2年卒業:16名

岩本 和香奈
大景 泉
岡本 萌加
橘 まり子
都田 健人
鳥越 暁美
仲田 良美
二枝 由美
古畑 優佳
保宗 史織
松尾 史恵
三宅 大揮
宮本 由合子
山下 かずみ
山田 友紀
吉田 祥子

第65期生
令和3年卒業:19名

赤尾 文野
石井 あゆみ
岩佐 崇生
太田 健雄
小川 英輝
小林 彩
先崎 貴保
高浦 真由美
浜田 律子
福島 多恵子
藤井 空
藤原 さつき
藤原 良枝
松田 美和
水松 明美
山崎 美穂
山本 恵理
吉田 妙子
脇田 実佳

第66期生
令和4年卒業:8名

川上 沙織
栗島 久実子
曾根 さやか
萩原 琴乃
筆谷 有美子
増原 礼華
山田 ちはる
山本 真紀



編集後記

昭和30年に創立以来67年、1,116名の卒業生を送り出した児島看護高等専修学校が、ここに歴史を終えることとなりました。

本年3月5日には伊東香織倉敷市長、難波一弘倉敷市連合医師会会長をはじめ多くの来賓の方々に御臨席を賜り感動的な閉校式を開催することが出来ました。

また、閉校にあたり、皆様方のご協力により閉校記念誌を発行する運びとなりました。誠にありがとうございました。

多くの方々からお寄せ頂いた原稿や過去の写真を拝見させて頂き、本校の歴史を再認識し、歴代学校長、教職員、また講義に携わって頂いた先生方をはじめ、諸先輩方の様々な思いやご苦勞に触れることが出来ました。児島医師会は児島看護高等専修学校と共に発展してきたと言えるでしょう。

本校が培ってきた良き伝統が、より発展的にこれからの児島医師会に引き継がれることを願っております。

最後に、記念誌を発行するにあたりご多忙の中御寄稿頂きました方々、また資料をお寄せいただいた方々に厚く御礼申し上げます。

また、閉校式の準備並びに本誌の編集、作成にあたり本校教職員、児島医師会事務職員の方々には多大なるご尽力をいただき心より感謝申し上げます。

令和4年11月

児島看護高等専修学校 副校長 村山佳則



【編集委員】

委員長 村山 佳則
委員 山本 康善
山口 聖美
岩崎 恵美
木村ひとみ
江見 尚哉

児島看護高等専修学校 閉校記念誌 67年間のあゆみ

2022年 12月 31日発行

発行 一般社団法人 児島医師会
児島看護高等専修学校
閉校記念誌編集委員会
印刷・製本 三宅印刷株式会社

